京城日報

本紙定價　壹部金參錢　壹箇月前金七十五錢
廣告料金
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

時間表
[illegible]

四月二十四日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇記念日に調印を
五月十日＝聯合國對獨要求

（巴里特約員發電）聯合國は獨逸委員に對し五月十日講和條約に調印せん事を求むべし　同日は一千八百七十一年普佛戰爭後フランクフルトにて講和條約調印されし記念日なり

◇審議決定迄秘密
講和條件＝英首相の演説

英國首相ロイド、ジョージ氏は十六日下院に於て述べて曰く講和條件に就きては意見の相違無く諸國參戰政府承認の件は提出せられず講和條件は審議決定迄發表せずと尚氏の政友は氏が一大危機に遭遇せんとしつつあるを認め又保守派の人々はウイルソン氏が賠償問題に就き英首相を壓迫したるとを恐れ英國が償金の分配を獲る能はざれば一般的不平を醸すべしと稱し居れり（倫敦電報）

◇日本獨利權提議
會議より脱退の意氣組にて

日本は五國會議に對し講和條約により日本が支那に於ける獨逸の利權に就き左の提議を爲せり（一）日本は青島を特別日本人居住區域と共に支那に還附すること（二）山東鐵道は日本と支那とに共利權を折半して經營すべきこと並に鑛物採掘權は日本に屬すべきこと而して之等の問題は啻に日本と支那との兩國間にて取極むべきが日本は此の問題をば大決心を以て主張すべし場合によりては講和會議より脱退し將來國際間に孤立の地位に立つも尚辭せざるの意氣組なり（巴里電報）

◇獨條約附議如何
（巴里特約員發電）獨逸委員が講和條約を携へワイマールに歸り國民議會に附議するを許さるるや　ヴエルサイユにて協議するを許さるるや目下のところ不明なり

◇條件獨委員手交期
（巴里特約員發電）講和條件は四月二十五日　パラースホテルにてクレマンソー氏より獨逸委員に手交するに決せり而して當日は何等の論議を許されざるべく其結果は簡單なり

◇對獨原料供給決議
經濟會議は講和調印迄に獨逸に原料供給を爲すことに決定せり（巴里電報）

◇獨逸委員着佛期
獨逸講和委員一行百七十五名は二十五日ヴエルサイユに着すべく巴里訪問は許されざるべし獨逸委員はツリアノンパラサス　ホテルにて聯合國委員と會見することゝなるべし（倫敦電報）

◇ウ氏調印迄在佛
ウイルソン氏は講和條約調印迄巴里に止まり歸國後特別議會を召集し之れが批准に就き演説すべし（倫敦電報）

◇聯盟よりも有力か
＝羅甸同盟建設計畫＝

最近羅甸系に屬する國語を使用する羅甸同盟を建設せんとする運動起れり此同盟は伊太利、西班牙、佛蘭西、白耳義を含み南北兩米人民をも包含することゝなるべく國際聯盟よりも有力にて統一的なる世界的勢力たるに至るべし之に就き歐洲羅甸系諸國代表者は巴里ツルボンヌ大學に會し各自所見を開陳せり（巴里電報）

◇傳道者親獨活動
米國々務卿は米國傳道協會に對し匈牙利及北部ガリシヤに於る米國傳道者が親獨的活動を爲せりとの非難ある旨を通告したり（桑港電報）

◇前露皇太后丁抹行
前露國皇太后及びニコラス大公は他の皇族と共に英國軍艦にてクリミヤよりプリンキポに到着近く英國經由コーペンハーゲンに向かふべしと（倫敦電報）

◇米蒙鐵道借款
蒙古は恰克圖ハブタ間の鐵道敷設權を擔保とし米國より三百萬弗借款の件成立せり（北京電報）

◇全國師團長會議
全國師團長會議は二十三日午前九時より陸軍省樓上會議室に於て開會田中陸相の訓示あり夫より諮問事項に就き意見を述べ陸相次官等より詳細の説明あり正午午餐を倶にし更に會議を繼續し散會せるが廿四日も引續き開會せり（東京特電）

◇朝鮮軍經理部長更迭
今回左の通更迭ありたり（東京電報）

朝鮮軍經理部長主計監　木村重
兔本職補朝鮮軍經理部長
朝鮮軍經理部長主計監　廣瀬正德
兔本職補陸軍經理學校長

◇中旬對支貿易
四月中旬に於ける對支貿易に付大藏省の調査によれば輸出一千三百萬一千圓にて輸入四百七十一萬二千圓となり差引出超八百二十八萬九千圓を示せり（東京特電）

◇實業組合要望
東京實業組合に於ける臨時經濟調査會の政府に提議せんとする決議の一に曰く目下對外通商の金融に當り居れるは正金臺灣朝鮮其他二三銀行のみにて一般貿易業者を滿足せしむるに足らず更に一部の銀行に特種銀行と同樣の保護を與へ貿易金融に當らしむべし（東京特電）

◇長尾理事復命
鐵道院理事長尾半平氏は廿三日午前九時卅五分東京驛着歸京直に本院に到り石丸副總裁と會見東清鐵道國際管理其他に就き復命せり（東京特電）

◎天機奉伺と御悔言上
大勲位竹田宮恒久王殿下には二十三日午後七時三十五分薨去遊ばされたる旨宮内省より發表ありたるに對し長谷川總督並に山縣政務總監は各別に二十四日午後一時天皇陛下の天機奉伺方波多野宮相宛並に竹田宮家附宛御悔み言上方發電せり

◎青島處分問題
＝帝國の主張貫徹せん＝

人種差別撤廢案の否決されたる今日講和會議に於ける帝國に關する重大問題は南洋及び青島の處分問題なるが南洋諸島は略委任統治に決定を見るが如きも青島問題に至つては講和會議にても未だ表面の論題と爲居らざれど非公式に之が取扱はれ居るが如く米國の一部に於ては青島は支那參戰の結果獨支間の條約破棄せられたるにより獨逸より直接之を支那に還付すべきものなるや將た又支那參戰前帝國が占領し尚ほ之に關して日支條約の嚴存するあれば日本の手を經て

▲研究調査　は各國委員に於て還付さるべきものなるやに關し法理上疑義ありと爲し他列國をして幾分此論議に傾聽せしめつゝあるが如く而して此間に乘じて巴里に在る支那講和委員の躍氣運動は之に對し多少の氣勢を添へ居るも未だ大勢を左右するに至らざるは勿論なるが只帝國は

▲國際法上　の慣例に準據し特殊政治協約が支那の參戰によりて消滅せざるものなるを確め帝國の手を經て之を還付すべきものなりと主張し此の點に關しては既に各國の諒解あるのみならず一部に於ては山東問題を一般獨逸領土處分と一律になすべしとの意見に對しても支那主權の存立せるを以て之に同意する能はず極めて強硬に主張貫徹に努めつゝあり當初帝國は

▲青島還付　の條件として一、專管居留地要求二、各國にて希望するに於ては共同居留地を要求すべき事三、青島を商港と爲す事の三主要點にあるが列國側にては愈々日本に青島還付を決定する時は表面に表れたる叙上三要點の外に更に重要なる要求を爲すに至るべく即ち事實上の租借地たらしむべき魂膽あるにあらざるやに關し頗る苦慮し居る様子なれば其際日本にて過度の追加要求を提起せざる限り帝國の主張は當然貫徹すべきや疑ふ餘地なきが如しと

◎兩殿下御弔詞
李王、李堈公兩殿下には竹田宮恒久王殿下薨去在らせられたるに付二十四日午前御使を總督府に差遣長谷川總督を經て竹田宮家御弔詞御傳言の電報を發せらる、と同時に兩陛下の天機を奉伺したり

◎總督邸招宴
長谷川總督は既報の如く廿三日午後七時より村野政友會總務、石塚總裁、原田朝郵會長の諸氏を主賓とし官邸に於て晩餐會を催したるが同時に美濃部、高野、川上、三宅、馬詰氏等の内地實業家並に鮮人實業家五十餘名を招待し主人側よりは山縣政務總監各部長官等列席し宴酣なる時總督は來賓一同の健康を祝して乾杯し夫々別室に於て和氣洋々の裡に歡談し十時頃漸く散會したるが近來になき盛宴なりし

◎蠶業制令發布
屢々報道せし朝鮮蠶業令は總督府制令第十號を以て二十四日附官報にて發布されたるが今其の主なる事項を擧ぐれば一、蠶種製造者たらむとする者は道長官の免許を受くる事、原蠶種より産出したる繭を用ふるにあらざれば蠶種を製造する能はざること、蠶種製造者が原蠶種と爲さむとする蠶種に對しては、繭及び母蛾の檢査を受くるを要し、又普通蠶種と爲さむとする蠶種に對しても其の蠶兒及繭に附きては檢査を、母蛾に附きては[illegible]口毎に非合格檢査を受くるを要す、蠶種は之を押製とすること、檢査に合格したる蠶種には證印を押捺し不合格は燒棄すること、蠶種製造者に非ざる者は蠶種の製造に因すことを能はざる事、蠶種を輸入又は移入せむとする者は朝鮮總督の許可を要し輸移入蠶種に對しても母蛾又は卵に附き檢査を受くる事、蠶種等に對しては檢査手數料を徴收すること、詐欺行爲を以て檢査に合格したる者又は不合格品の蠶種又は蠶兒を讓り渡したる者又は輸移入蠶種の檢査を受けざる者に對しては五百圓以下の罰金に處すること、蠶種製造者、桑苗生産又は販賣業者は其代理人、家族、同居者、雇人其他從業者にして本令又は本令に基づきて發する命令に違反したる時は自己の指揮命令に出でざるの故を以て其の處罰を免るゝことを得ず等なり

◎蠶業令發布に就て
總督府技師　十時雄次郎氏談

近年朝鮮の蠶業は非常の發展を爲し七年度に於て收繭額十三萬餘石に達し之が産出を爲すべき蠶種も四十八萬八千枚の多きに達せり從來蠶種は主として内地より其

▲供給を仰ぎ　しも近年鮮内地に於ける製造事業勃興と共に移入額漸減し今は僅々十數萬枚の移入を見るのみなり此の蠶種の良否は一に朝鮮の蠶業を左右する重大事項なるを以て今回本令に於て移入品たると鮮内生産品たるを問はず嚴密なる檢査を施し品質の向上を圖ると共に不良品種飼育を絶對的に禁止することゝなしたり蠶業の發達に伴れ桑葉の需要も亦增進し其の樹苗は從來多く内地品に待ちしを以て其移入額は夥しき數量に上り居りしも是亦近年鮮内に於ける育成事業勃興し昨秋より今春に於ける植栽總數六千萬本中其の

▲九割を供給　し得るに至りたるが此の桑苗の良否も蠶の善惡と同じく蠶業の發展に影響する所甚大なるを以て是等生産品に對し病蟲害の豫防並に驅除又は桑苗の衰弱を防止する爲め桑葉の豫防、驅除、品質等に於て採取を制限すべく其他一般蠶病の豫防、驅除、蠶種の品質等に於て苟も蠶業發展上障害を與ふべきものに對しては此際相當の制限を加へ斯業發達を助成するの必要を生じたれば茲に數年來の懸案たりし本令の發布を見たる次第なり

◎辭令（四月二十二日朝）
朝鮮總督府判事　切山篤太郎
依願免本官
公立普通學校教諭　谷口貫次
任開城公立商業學校教諭敍高等官七等
開城公立商業學校長を命ず

◎貨物運賃引下
北鮮と阪神關門間

朝鮮郵船會社の東海岸と内地阪神關門間の營業運賃は去る十六日より百石に付約二十圓方の運賃を引下げたる穀類以外の貨物は何等更改し居らざるが近くその引下げを行ふべく當局並に會社に於て調査中にあり多分五月一日より實施する事となりその引下は約二割見當なるもの如し尚ほ右は北鮮と阪神關門のみにて日本海横斷航路には均霑せずとの事なり

◎内地行貨激減
朝鮮鐵道に於ける内地行き運帶貨物は米豆相場の鮮内割高なるため内地行不振益々減量の傾向あり四月二十日午後六時現在の輸送申込總量は一千零八十噸にして内本線京釜線以東行き二百零一噸その一揃明日は三日を以て足り又本州線以西行きは二百八十一噸を算するに過ぎず一揃明日二日又九州線に下關行きは五百二十一噸にして輸送所要日六日なり尚ほ朝鮮内に於ける内地行き託送數減の結果最近は滿洲連帶の内地行き貨物の輸送を比較的多量に行ひ居れり然も尚ほ貨遲々たるが一は漸運賃暴落の影響もあらんと

◎南鮮用水不足
南鮮地方は既に苗代開始期に入りたるが降雨にして水不足のため農民の困憊淺からざる所あり此際適當の降雨を見ざれば稻苗不足の聲を聞くに至らずやと某有力當局は語れり

◎五洲輕鐵經過
レール引合中

神戸鈴木商店中堅となり全羅北道慶尚南道に跨り敷設せんとする五洲輕便鐵道その後の經過を聞くに鈴木商店は昨今人を馬山方面に派し目下豫定線により實測を進めつゝあり又同鐵道のレールは歐洲大戰に使用されたる不用輕鐵レールを用ふるを有利なりとし昨今神戸より倫敦某方面に引合中との情報あり要するに發起人に於ては客冬來準備を整へ居れる由に付き會社の組織の如き年内には實現を見るべしとの事なり

◎取引所株
京城申込み二十五日限り

仁川米豆取引所の增資新株は其五百株を京城に於て引受くる事となりその依頼を受けし古城管理局長、兵衛、和田常市、田村義次郎、大田[illegible]

◎長春客月貿易
長春の三月中の貿易は客月初め北滿地方より白豆大豆の馬車輸送行はれたるも長春驛に於ける貨物の滯貨は日々甚だしく之に伴ひ貸車の供給は依然として圓滑ならず大連市場に比し著しく軟弱を示したる時に加ふるに米國方面より豆油の註文杜絶せし爲め大連市場にて悲觀に傾き手持筋は賣り放ちに出づるもの多く相場は下押しを持續し更に内地米の暴落により雜穀類一齊に崩落して大恐慌出現するかと觀測せられたる形勢なるより長春の市況は益々沈衰を極め大豆相場は一時三圓五十錢に落込み金融業者は内入金の擔保の徴收に忙殺せられ財界險惡の兆を示したるも中旬に及びて滿鐵は長春特産物商組合の希望を容れて貨車の增配方針を建て貨車八九十車從前に比し約二倍增を配給せらるるに至りければ三十餘萬の滯貨も六月一杯には一掃せらるる見込なり從つて市場頓に活氣を生じ來り折柄豆油方面より思惑買ひ現はれたれば大豆相場は漸次立ちなほりて四圓三十錢に反撥し市況漸次平穏に復しつつ越月せり（長春）

◎土木建築協會總會
朝鮮土木建築協會にては來る二十七日午前十時より京城ホテルに於て春季總會を開き大正八年度豫算及び前年度の決算並に會務の報告をなす筈なるが同協會は昨年三月創立以來朝鮮に於ける土木建築界のために盡瘁し目下の會員も全鮮を通じ約二百名の多きに上り居れりと

▲講演會　土木建築協會にては前項春季總會後午後一時より京城ホテルに於て更に前年度第二回講演會を開く筈なるが[illegible]兩氏並に總督府又は工業專門學校より夫々出演ある由

◎鈴木理事一行
西伯利出張の途にある鐵道院鈴木理事三上參事渡邊野村兩技師一行は二十四日朝釜山上陸十時發急行列車にて北行せり（釜山特電）

鮮銀券引換高
朝鮮銀行にては去二月十七日より下關市に支店を開始したるが上月廿一日迄の當市に於ける銀行券引換高は十三萬一千五百圓市外他店よりの受入に係る者合計三十九萬九千九百十九圓合計五十三萬一千四百十九圓の巨額に上り漸次增加の傾向ありと（下關支局）

◎京畿金融現況
三月末現在京畿道管内水原地方金融組合以下二十三組合に於ける金融狀況を聞くに組合員數一萬一千二百九十八人前年同期に對比する時は六百二十一人を增加し一組合平均に見る時は四百七十人強の割合となれり而して貸付金總額に於ては五十三萬一千百九十二圓五十五錢を示し前年同期に對比するに二十四萬八千四百六十圓六錢預ケ金總額に於て六萬九千二百七十圓一錢を示し前年同期に對比するに五萬零九百九十八圓廿五錢五厘現在總額に於て一萬三千二百四十九圓四錢を示し前年同期に對比する時は二百八十八圓八十五錢純益金總額に於て九千百二十三圓を算し前年同期に對比する時は七千四十五圓六十九錢何れも增加を示せり而して一組合平均の純益金は三百八十圓十五錢を見たり其資産及び負債の内譯を示せば左の如し

▲資産の部　拂込未濟出資金一萬[illegible]千二百七十三圓卅五錢貸付金五十三萬一千百九十二圓五十五錢共同購入[illegible]千八百八十二圓[illegible]土地建物什器其他六萬一千四百八十圓[illegible]預ケ金銀代理九萬二千五百九十四圓廿九錢雜勘定一萬二千六百五十九圓五十錢預ケ金六萬九千二百七十圓一錢現金一萬三千二百四十九圓四錢五厘損失金八[illegible]合計九十三萬[illegible]

▲負債の部　出資金十二萬一千三百四十四圓下附金二十四萬八千六百圓積立準備金六萬五千[illegible]特別準備金六千[illegible]借入金十六萬七千七百七十四圓[illegible]預り金十五萬一千二百三十九圓[illegible]朝鮮銀行代理五百六十六圓[illegible]雜勘定十萬八千四百七十三圓七十四錢利益金九萬六百八十八圓六十六錢[illegible]合計九十三萬[illegible]

◎金川郡參事更迭
黄海道金川郡參事尹昌善氏は病氣辭任に付慎台晟氏四月十五日附任命されたり

人事消息
▲石塚英藏氏（東拓總裁）　廿四日朝[illegible]
▲原田金之祐氏（朝郵社長）　同上
▲兒玉友雄氏（步兵少佐）　同上
▲佐藤潤象氏（朝鮮輕便鐵道重役）　同上
▲鈴木坂鐵氏（總督府技師）　二十三日出公州出張
▲牧山代議士　二十五日午前十時南大門驛發列車にて出發壹岐五島の選擧區を一巡し五月十日福岡市に於ける政友會大會に臨み歸京すべし
▲中島司氏（殖銀理事）　廿四日朝著任
▲田村光吉氏（殖銀理事）　二十四日朝釜山上陸十一時發京城直通列車にて北行（釜山特電）
▲古城梅溪氏（贊化病院長）　上京中の處二十三日夕歸城
▲吉川八十郎氏（朝鮮郵船釜山支店長）　二十四日朝歸釜

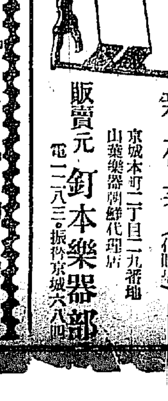
八面鋒
◆巴里公會が、四月二十五日ヴエルサイユに代表者を送るべしと、獨逸に對して正式通牒を發したるは、既に公にせられたる事實なり、而して獨逸側が直に之れに贊成して如何なる委員を送るべきやは、未だ明かならずとするも、別途の報道に依れば、獨逸委員は二百名にして同委員が講和條約の文を伯林に齎すべく、往復八日間を以て特使を送る事を許可さるべく、尚ほ調印に對しては、八日間の猶豫を與へらるべしと。然も調印が如何に順調に進むとするも、同會には二週間以上を要すべく、巴里公會も漸く之にて本舞臺に入りの感あるも、獨逸の現狀として、或は各種方面より繰り出し來るや計れず、而して其の結論がすぐに押しかくべきは勿論也。敵味方の初顔合せ、强能く硬を制するか、柔能く强を制するか。講和會議の氣分は、將に緊張の頂上に達せんとす。
◆獨逸の苦痛は、アルサス、ローレンスを割かるゝよりも、ザール、ダンチツヒ、ラインと其の手足を捥取られたる上、五十年百年にも亘りて、賠償金を支拂はざるべからざるにあり。若し夫れ獨逸たらんとするも、豈に一箇の議論なくして、直ちに容易に之れに贊成するを得んや、北處が對獨講和會議の安危の岐點たらざるを得ず。
◆何にしても、豫期の如く講和の成立を見ざるに於ては、再び協商國は鐵火に訴へても、初志を果さんとするか、其れとも獨逸の健全分子を援助して、共に露國をも救助せんとするか。世界改造も頗る厄介となりたるが、要するに其の前途は未だ遼遠也。
◆對獨講和の成立は、戰後の列國をして、益々不安裡に陥らしめ、此の不成立にしても、亦一層の手數と厄介を増す、恰も引つかゝりたる競走者が、スタートを誤りたるが如し。大戰誘發の責任前獨帝にありとせば講和行詰まりは、其の指導者に歸せざるべからざる也。

ピストル不要　誰れにも應用自在
即座活用
增補圖解　空手護身術　再版七拾
此の秘術を會得せば身に寸鐵を帶びずとも强敵を倒し强賊を捕ふる事極めて容易である、内容の一部を示せば拔刀の敵に對する護身術●三人五人を敵として必勝術●簡易柔術活用法●拳法必勝法●不動金縛の方式●當身の法●氣合術●忍術秘奥五通の術●誰れも實行活用●霞隱れの術●忍術奧儀●男女應用自在の秘傳●相撲必勝法●其他無手で勝ち易き術を圖解詳説せり
四六判二百頁　特價六十錢　前金送料四錢　引替は十九錢
東京淺草町瓦川岸　青文堂　振替東京一五四一〇

水道布設　煖房裝置　衞生設備　喞筒
諸機械据付　諸材料直輸入　製作販賣
工事設計請負
大連市監部通二丁目露亞銀行前
宮内省御用　須賀商會大連出張所
本店　東京　支店　大阪市東區今橋　名古屋　京都
出張所　住吉　台北　青島　神戸　工作部　東京　大阪　博多

洋酒　食料品　罐詰
歐米より新輸入品續々入荷致候ニ付多少ニ不拘御用命被仰付度奉願候
大日本麥酒株式會社專屬販賣店
帝國鑛泉株式會社專屬販賣店
鶴印及人形印煉乳特約店
金線印煉乳關西發賣元
ラッパ印煉乳發賣元
三矢ポートワイン發賣元
直輸出入商　神戸市元町通四丁目　吉川商店

石灰
左官用、工業用、衞生用
果樹消毒用、各種石灰
肥料用（消毒石灰、牡石灰）
御利多く大勉強仕候間御用命之程伏して奉願上候
大田春日町一丁目　大田石灰製造所


新荷著（目錄無代進呈）
京城本町二丁目二九番地　山葉樂器朝鮮代理店
販賣元　釘本樂器部
電二八三　振替京城六八四

釀造高　五千石
品質醇良

天下唯一
齋藤酒造合名會社

大藏大臣免許勸業債券割賦販賣
地方在住勸誘員募集
希望者は履歷書及身分證明書並に郵券五錢封入御照會を乞ふ
大藏大臣免許
東京京橋永代橋通　濱田債券株式會社（電京三三一番　振替東京三〇三〇四番）

薨去遊されたる竹田宮殿下

○花散る夕 竹田宮薨去

二十三日午後七時三十五分 卅八歳を御名殘として

陸軍騎兵少將大勳位功五級竹田宮恒久王殿下には去る十九日以來御風氣にて御靜養中のところ二十二日に至り病勢御增進の模樣あり 聖上皇后兩陛下の御軫念、妃殿下始め各宮家よりの厚き御看護も甲斐なく、二十三日午後七時卅五分三十八歳の御壯齡を以て、永久の旅路に出立たせ給ふ。殿下御薨去の悲報到るの時 落花を誘ふ風冷たく、世は春愁の色に包まれて轉た心を痛ましむ。謹むで哀悼の意を表し奉る。

▲竹田宮殿下二十三日正午御容態は御體溫三十八度五分御脈搏七十六至御呼吸五十四回なり(東京特電)

▲竹田宮恒久王殿下には二十三日午後七時に至り全く御危篤に陷らせ給ひ 天皇皇后兩陛下には甚く御軫念在らせられ正親町侍從長を御差遣遊ばされ各宮殿下よりも夫々御見舞ありたるが恒久王殿下には御食物は全然御攝取無く御衰弱次第に加はり詰切の醫師も只困つたと嘆聲を洩らし居れり(東京特電)

▲竹田宮殿下には二十三日午後七時三十五分全く御危篤に陷らせられ終に薨去あらせられたり御齡三十八歳(東京特電)

▽宮中喪仰出さる 二十三日より三日間

竹田宮恒久王殿下薨去に就き皇室服喪令の御規定に依り二十三日より二十五日迄三日間宮中喪を行はせらるゝ旨即日官報號外にて仰出ださる右服喪令は宮中席次第一階及び國務大臣禮遇、第二階乃至第十階の者參内の節は正式喪服を著用す可きものなり(東京特電)

▽御略歴

竹田宮恒久王殿下は故大勳位陸軍大將北白川宮能久親王殿下の第一王子に在し明治十五年九月二十二日を以て御誕生あらせられ同三十九年三月竹田宮の御稱號を賜はる先是 陸軍士官學校を御卒業同卅七年二月陸軍騎兵少尉に任ぜられ同三十八年二月中尉に御陞進近衛騎兵聯隊附となられ同卅九年二月陸軍士官學校生徒隊附に補せられ同四十年二月大尉に同四十四年十一月少佐に御陞進陸軍騎兵學校附となられ大正四年八月中佐に御陞任騎兵第十九聯隊附に補せられ同五年八月第一師團司令部附に御轉任同七年七月大佐に御陞任あらせらる明治三十九年十二月日露役の功に依り功五級金鵄勳章を賜ひ同四十一年四月勳一等に叙せられ旭日大綬章を賜はり後大勳位に陞叙せられ菊花大綬章を賜はる

▽少將に 御陞進 御危篤と共に

御陞進の趣天聽に達するや廿三日午後三時左の通り御沙汰あり

大勳位功五級 第一師團司令部附陸軍騎兵大佐 竹田宮恒久王
任陸軍少將(特旨)●

右の辭令は陸軍省補任課長步兵大佐河西惟一氏捧持の上竹田宮邸に伺候し鍋島御附武官に交附したり(東京特電)

▽宮内省發表

竹田宮恒久王殿下には二十三日午後七時三十五分御危篤次いで薨去あらせられたる趣二十三日午後十一時二十分宮内省宗秩寮より發表ありたり(東京特電)

▽微かに笑ませ給ふ 御陞進の趣聽かせられ

竹田宮御附武官騎兵大佐 鍋島直明氏談

御陞進辭令書は竹田宮家宮務監督陸軍中將男爵川本雅美氏が之を捧げて御病室に進み御枕許にて全文を讀上げ奉りしに殿下には御重態の裡にも御目を微かに開かせられ御喜悅の御面持を遊ばされたりと拜承したり(東京特電)

▽寢食を忘れて 妃殿下御看護に努め給ふ 御質素なる宮家の御生活

竹田宮妃殿下には兩三年來王子殿下御病弱加はりてより御心あつてか一層御節儉にて御自分の御平服も常に紋織御召位にて御帶も恐入る程御質素にて王子、王女方に銘仙とメリンス許りにて御養育は總て御手づから遊ばし 王殿下の靴下迄御編あり今回御發病以來は全く御寢食を忘れ御病床に奉仕遊ばされ 傍の御勸めに一寸御寢遊ばさるゝも直身を浮めて一醫師の命の儘に御盡し遊ばされたりと(東京特電)

▽哀しき御臨終よ 若宮、姫宮の御顏を見詰め給ひ 眠るが如く薨去

宮内事務官 大谷正男氏謹話

語るも恐懼の次第ならが竹田宮恒久王殿下御臨終の際には日本間二十疊の御病床に昌子妃殿下を初め若宮恒德王姫宮禮子女王殿下其他御近親の方々詰切れ 一の手落ちなき迄御看護申上げられたるが如何ともする能はず終に薨去の悲しみに接したる次第なり薨去間際の殿下には御疲勞の御氣色も御意識極めて明瞭にあらせられ妃殿下や若宮、姫宮等の御顏を御熟視になり乍ら眠るが如く安らかに薨去遊ばされたり(東京特電)

▽哀しみ極まりて 語るの言葉なし 恐懼に堪へぬ妃殿下の御胸 御成年式は何うなる

波多野敬直子謹話

哀しみ極まりて予は何事も語る言葉なし此際大妃殿下妃殿下其他御家族の方々如何に御悲嘆の裡にあらせらるゝか拜察するだに堪へられぬ想ひあり唯だ恐懼に堪へぬ、東宮殿下御成年式は既に宮内省告示を以て二十九日擧行に決定したるが若し御延期になるが如きことあらば再び公表す可し併し今のところ御延期になるや否やは未定なり(東京特電)

薨去前の竹田宮邸 閑院宮、同妃兩殿下が御見舞の後御退出遊ばさるゝところ(東京支局撮影)

▽目先に浮ぶ御英姿 類なき殿下の御精勵 御晝食は手輕な一品料理

曾て殿下の御知遇を辱うせし某陸軍將校は語る『殿下薨去の悲報に接して驚愕此上もない事だが殊の外御健勝で軍務に御精勵であつたことを思ふと逞々しいお姿が目先に浮かんで來る

▼公務中は 宮殿下でなく一大佐として頗る質素で平民的に在し御晝食などは多くは御本邸からお取り寄せであつたが時には部員と會食遊ばされ一食十六錢から二十二錢迄位の燒肉のやうな一品料理で手輕にお濟ましになることさへあらせられた忙しい時は時間過ぎまでも書類に御目を通されて拮据あり執務中は勿論平常でも頗る

▼言葉少く 而も非常に打ち解けた態度で向はせられるので師團の將校一同は恐れ多く感じてゐたやうである御本邸からの御往復は自動車か馬車であるが時々御乘馬で御出勤のこともあつたが騎兵科御出身だけに一段と御風姿が氣高く拜された午前午後の休憩時間には屢營庭を御運動遊ばされたが

▼御附武官 がお傍に侍らない時などはうつかりしてゐる者もある位一將校になりきつてゐらせられた要するに公務中は勵精謹嚴であらせられたといふより外に申上げることがない一時も早く御回復を祈つて居た甲斐もなく遂に薨去あらせられたとは、噫』

▽軍服を脱がせ給はず 平民的で子供が御好き

更に某氏は語る『殿下は非常に平民的に渡らせられ萬事は公平で御怒りになつた事なく部下を御叱りになつた事など一度もない、子供が御好きで家來の子供などに御言葉を賜り玩具や御菓子を下されて

▽子供の 喜ぶのを御覽になつて樂ませられる、日曜には恒德王、禮子女王殿下を御伴れに葉山へ御成り又は濱離宮へ御成りあり摘草、魚釣りなどに一日を御遊びあらせらる、年中軍服を召され御入浴の時に御脫ぎになる位のものである

▽馬術の 御達人にて司令部より御邸へあらせらるゝと邸内の馬場にて御乘馬術を一層御研究あるが日課の如くになし給ふ御愛馬に英京と云ふのがあつて時には親しく御手入遊ばされる事がある』

▽更闌くる迄 御勉學

前御附武官 壬生伯謹話

予は殿下が明治四十二年陸軍大學に御入學遊ばされし時より御卒業迄三年間奉仕せるが當時殿下には毎夜其日の宿題の御解答に夜更けまで御勉學遊ばされ御相手を申上ぐる自分は高輪の御邸より自宅に歸る電車にて歸りし事も屢々なりき而も時には其の電車にすら乘遲れ徒歩にて歸りし事も有たり殿下が妃殿下と御婚儀あり竹田宮の御稱號を戴かれたるも其頃なり(東京特電)

▽李王御弔電

竹田宮恒久王殿下薨去の旨李王家に公電あり李王殿下には直に『謹んで哀悼し奉る』旨御弔電を發せられたり

◇殉職した父の遺志を繼いで

高等女學校優等卒業の才媛 鈴木はる子さん

小さき新星

殉職鈴木校長の遺忘兒はる子(一九)さんは高女優等卒業の才媛である節氣などは父にも優くも無く又それ丈けに純な麗しい心の持主である。在學中は何學科も總じてお好きであつたが強て言へば英語、地歴、圖畫、裁縫と云つた樣なものが得意であつた相です、はる子さんは

▲希望に輝 いた瞳をおとなげで『教育家の庭に育つた私は幼少の頃から、自然教育家になり度いと云ふ希望を持つて居ました。それが段々芽を吹いて來まして愈々教育界に身を投じようと云ふ固い決心をしたので御座います それは高女を出る

▲一寸前の 事でした。それに御承知の如く父はあゝした最期を遂げたものですから、是非父の意志を繼がねばならぬ樣な氣も致しますので——と眼にはる子さんの眼は潤む——内地の高師へ入學しようかと思ひましたが、都合によつて高普の女子教員養成所に入りました。卒業後は眞に温かい心を以て、專ら

▲鮮人教育 に努め度いと考へて居ます。教育家と云ふものは責任が重いむけに又愉快なもので、家庭にあつて子供を育てゝ行く上にも決して惡くはないので御座います』はる子さんの顏は悠々として固い決心の色が仄に見ねました(寫眞ははる子さんの作品)

◎參列者皆泣く 悲痛を極めし殉職者追悼會

平安南道成川、沙川、陽德等各地に於て騷擾事件鎭壓に際し殉職した成川憲兵分隊長憲兵中尉政池覺三氏外數氏の追悼法會は二十三日午後一時より平壤若山町

◇西本願寺 本堂に於て擧行せられたり正面壇上には殉職者の位牌を安置し各種の供物を獻じ壇下には長谷川總督、兒島警務總長、工藤平南道長官、井戶川旅團長、松寺檢事長、關口檢事正、小河警務部長、步兵第七十七聯隊將校團、平壤憲兵隊高等官、平南道務部高等官、在鄉軍人會、成川憲兵分隊等より寄贈の供花及び平壤監獄より寄贈の

◇花輪を供 へ祭壇の兩側には平壤佛教團の僧侶十餘名着席し左側には小河警務部長以下警察職員右側には工藤平南長官鳥山覆審法院長松寺檢事長井戶川旅團長關口檢事正の各勅任官外文武高等官民代表者等五十餘名參席し尚本堂階下前には警察憲兵及び補助憲兵の一隊百餘名整列し森嚴の氣場の内外に滿つ又式壇の上には

◇法燈の光 まばゆく金色の佛殿に映じ香煙ゆる〳〵と立昇り丁哀愁を唆れり軈て式は僧侶の讀經に始まり小河警務部長の悼詞あり次で藤憲兵副官兒島警務總長の弔電朗讀工藤長官關口檢事正の弔文朗讀ありたるが何れも言ふ悲痛を極め誰一人として歔欷慟哭せざるはなかりき斯くて最後に參列者一同の燒香禮拜ありて式を終れるが時に午後二時半なりき(平壤)

◎長淵の騷擾

黃海道長淵郡夢金浦に下は二十二日約百名の暴民騷擾し制止の警官に暴行を加へ内地人雜貨商を襲ひたるが彼に負傷者若干名を出せり

◎晉州騷擾事件判決

晉州地方法院は騷擾被告人金在華外二十三名に對し左之通り判決を言渡せり(晉州)

▲懲役貳年六ケ月 金在華、朴進煥、姜達永、鄭準教、沈斗變、▲同貳年 姜周漢、朴龍根 ▲同壹年六ケ月 鄭容吉、李康雨、權采根 ▲同壹年 韓圭根、鄭彥錫、崔炳林、張德翼 ▲同六ケ月 姜用鎬、金泰東、金仁儉、金在祖、金永祚、鄭成鎬、千命主、朴星午、李永圭、權泰根(三年間執行猶豫)

◎モーリーの控訴公判 五月十日開廷 鵜澤博士來鮮

保安法違反犯人藏匿罪として去る十九日懲役六ケ月に處せられたる平壤米國宣教師モーリーの控訴公判は來る五月十日平壤覆審法院に於て開廷せらるべく當日は東京の鵜澤總明博士及京城の大久保雅彥氏、平壤の森岡法學士等出廷辯論の任に當ると(平壤)

◎梅蘭芳通過

支那名優梅蘭芳一行三十五名は廿四日午前五時四十分著列車にて來釜直に關釜連絡船にて内地に向ひたり(釜山特電)

淨瑠璃界

○京城からフトが年々に出て行くところ [illegible] 大分なくなつてゐる▲フトの節は [illegible] のではない [illegible]

◎記念品贈呈

京城中學校教諭高木善人氏は今回公立全州高等普通學校長に榮轉に付き京城中學有志に於て記念品を贈呈すべく目下取纒め中なるが贊成の方は同校戒野氏迄申込まれたしと

運動界 戰の跡(下) KY生

次ぎに漢陽、京俱の戰は漢陽が優勝旗を得るか否かと云ふ興味ある試合で、吾等ファンは緊張した試合を見られる事を期待して居たが 溌剌たる元氣に滿ちた京俱軍は 敵投手齋木のアウトカーブをよく研究し必勝の勢を見せたに對し、漢陽軍は戰の始めから 萎縮して居て活氣なく鐵道軍に對したる時と別人の如き觀ありし齋木の投球振りと、野手の凡失凡失を重ねた結果、大スコアーを以て慘敗したのである、此のチーム位プレーヤーのいゝ肩を持つたのが揃つてるチームはない、バッテリーも四チーム中第一で居ながら尚ほよく京俱を破り得なかつたのは一に齋木の不出來とプレーヤーの不元氣に基因したのであらねばならぬ、齋木は元京俱の投手であつた丈、それ丈よく京俱選手の弱點を知つて居ながら其弱點を捉へ得ず、却つて投手それ自身の弱點をねらはれて亂打されたのは齋木として大に考へなければならぬ事である、四チーム投手中の第一に上げらるゝ君よ、君の唯一の武器たるアウトカーブ以外に、もう少し研究する必要があらうと思ふ、來るべき鐵道軍との試合にも あのアウトカーブのみを唯一のたよりとして居たならば京俱軍に對した時と同樣な結果に陷る事はあきらかな事と思ふ、以上三チーム中京俱の [illegible] 振りは最もあざやかであつた、あれで打撃さへ振へば申分のない好プレーヤーだが惜しむらくは打撃のプアーな事だ、京俱は内野がしつかりして居る、鐵道は外野が確實だ、漢陽はバッテリーが非常にいゝ、捕手の肩がいゝのは羨ましい、只このチームは外野が大に見劣がする、このチームに打撃の練習と走壘の研究を積ましたら四チーム中に於て、このチームに打勝つべきチームは他にあるまいと思はれる、以上三チームは最後の優勝戰に何れも必勝を期して居るけれど何れも各敵チームの長所、短所を充分研究された事と思ふが、同時に守備に於ても充分の練習を積み過失なき樣期せられ度い

○國有林競賣(晉州) 慶南居昌郡旗山面栗米山及び同郡南下面金谷山の國有林を五月六日 [illegible] なるが本年は松十五萬本落葉松五萬本ニセアカシヤ六萬本を約十三萬坪に植栽中なるが雨三日中全部 [illegible]

[illegible] 氏會長に曹宗氏副會長に宋鎭一 [illegible] 餘一山、周五庭外七名評議員に當選同五時三十分散會したり

[illegible] 線雞冠山に於ける滿鐵獨身宿舍缺乏にて不自由に付本年度に於て煉瓦造百五十坪を新築する事に [illegible]

○自動車(安東縣) 安東縣 [illegible] 定し不日工事を入札に附すべしと [illegible] に纏まらざる模樣なるも近く具體化するに到るべしと

○慶頭より飛ぶ [illegible]

○お客が泥棒(神奈川縣) 生れ當時住所不定堀本愛吉(二)は [illegible] 又々十六日に登樓し拂治の便所へ赴きし際を覘ひ [illegible] 羽織及び銘仙の [illegible] のを窃取し [illegible] 踏み込まれ引致の上目下取調中なるが [illegible] 見込にて取調中(平壤)

京城地方 天氣豫報 晴一時曇 ▼京城氣溫 [illegible] ▼日出五時四十七分 日沒七時十四分

歸院 從前の通り診療に從事致候 京城明治町一丁目 内科小兒科 醫學博士 古城憲治 贅化病院

行員見習生募集 年齡十五六歲以上にて高等小學卒業程度の者二名採用希望者は履歷書携帶本人來談あれ但し市内に保證人を要す 二十銀行仁川支店

名刺 中田普成社 京城本町二丁目 振替京城四六〇 電話二〇七

家庭用絞り機械 各種荷著!! 並に圖案及染料品 金銀粉染料類 京城本町二丁目三番地 ミツワ販賣所 家庭藥 木下藥房 振替京城一五四〇 電話長九一三八番

寫眞製版 京日寫眞製版部

浪花館 京城明治町 電話二六一 四月二十五日より八日目 行名乘 打東家小ゑん一行 東家小若 浪花軒 叶川 末吉 中川 浪右衛門 東家一燕 浪花亭明蝶 三味線 竟永御前試合 水戶黃門記 二ッ巴 心の花 御國の花 關根大石會見 鬼原多助 [illegible]

白石噺 日活會社京都派の舊劇 [illegible]

燈臺守 米國ゲーピー社大傑作 [illegible]

浦嶋太郎 日活會社獨特之作品 全二卷 寫眞セーロン嶋の魔都 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 四月二十五日より新寫眞 [illegible] 愛の光り 全五卷 [illegible]

薔薇 新派 大悲劇 社會劇 (全三卷) 朝顏日記 全百八十五場 [illegible]

黃金館 電話(晝間)二二六六 (夜間)二二六三七 四月廿五日より一夜毎にふさはしい新寫眞 大活劇 大アムブロジオ會社大作 新婚の夜(全二卷) 米國クリスチー喜劇會社大作 [illegible]

文樂座 本町五丁目 電話一三三八 四月廿一日午後六時開演 大阪新派 花形 大中軒小雲月 吉川辰右衛門 合同一座 [illegible]

有樂館 京城本町一丁目 ユニヴアサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 ▲二十三日より優秀映畫提供 ▲實寫 ユニヴアサル週報 ▲探偵 アリス孃 全三卷 ユ社エルコー映畫 アリスハワード孃出演 ▲社會劇 戀の網 全五卷 米國ユ社青鳥劇作品 ミルドンレーア氏原作 快男兒ハーリーケーリー氏出演 ▲正劇 日陰者 全三卷 米國ユ社インプ特作品 出演ローイステアート氏 名優ハーリーカーター ルイズラブリー孃 ▲活劇 譽の名手 全五卷 米國ユ社胡蝶劇特作品 ハーリーケーリー氏 モリーマローン孃主演

（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

◎造林（安東縣）　安東縣滿鐵附屬地及び官有地管理會の事業として多年水道水源地附近に造林中

◎公議會役員會（安東縣）　安東新市街華商公議會役員會を二十二日午後四時より同會議所に於て開會役員の改選をなしたるが蘇雲舫

くに牛二百六十二頭、豚半五十頭、山羊四十七頭豚八百六十三頭なり

◎鷄冠山獨身宿舍（安東縣）　安奉

[illegible]其設計全部、改修工事は都合により設計中なるが煉瓦造二階建五十二坪と決なるも消路筋に不平の聲あり

[illegible]地帶周圍（二）こいふ狂女は大同江岸に沿へる高さ五十餘丈の斷上より身を投じ慘死したり（平壤）

[illegible]挑治を敢唱こして遊興せしも懐中無一物なるより詐りて挑治の衣類を入質し之を支拂たるが其後敵默を入質し其の足にて圖々敷くも同廓東洋樓に登樓し娼妓千鳥を敵娼として遊興中平壤署の刑事に

第二版

◎群山水道狀況
近く給水料低減されん

群山府に於ける水道狀況を聞くに現在給水戸數は一千二百戸に達し一日の給水量約二千四百八十石にして昨年三月末需用總戸數に比し約三百戸を增加し府內々鮮人總戸數三千百二十五戸に對する約三分の一以上の需用戸數を見るに至り而ほ當事者は給水料の低減布設材料貸附の便法等に付講究の結果目下當局の認可申請中なれば許可の曉は一般需用者は非常の便益を得ること、なり自然需要戸數の激增を見るに至るべし昨年八月以降は雨量なく貯水池水量に影響する程度の降雨なく貯水池滿水時の有効水深八尺に對する現在は僅に三尺の有効水深を残すのみなるも現在給水量を以てして猶ほ三箇月以上の給水に堪へ得べき見込にて各地水道の枯渇し給水制限の聲を聞くに群山水道の未だ其事なきは市民の幸福と云ふべく而も當局者は市民が飲料水に對する衛生觀念の向上に伴なひ近く實現すべき料金低減と共に本年度に於ては需用戸數の一層激增すべきを豫期し既に水源池擴張工事の計畫を樹て居れる由にて工費約三萬圓を要すべしと

◎金肥普及計畫（中）
忠淸南道

▲申込方法　別途會社より配付すべき申込用紙に所要の事項を記入し東洋拓殖株式會社江景出張所、鳥致院、天安の二部は同水原出張所宛取扱者より直接に申込むと該申込に當り使用者に於て便宜とする引渡場所を指定すべし前項各種組合、會、稧に於て金肥購入申込を爲すに當りては金肥施用臺帳を備へ購入申込の重複を防止すべし

▲配給價格　原産地に於ける價格に引渡指定場所迄の運賃荷造費を加へたるものを以て賣渡價格とし十二月支拂のものにありては現品引渡の月より十二月に至る間右賣渡價格に對し每月一步二厘の利息を加算したる額とし現品引換拂のものに在りては右賣渡價格に對する二分四厘の手數料を加へたる額とす

▲支拂期限　每年十二月限とし購入者の希望に依り現品引換拂とするも差支なし

▲引渡期　每年四、五月引渡の豫定とす

▲手數料　本件金肥購入の取扱を爲す前項各種の組合、會、稧及び同項但書の肥料商は東拓より玉粕一枚につき金五錢以內撒粕一袋に付金十錢以內の仲介手數料を申受くることを得べし

◎ガソリン喞筒到着
◇群山消防組の新威力◇

既報群山に於ける最近火災事故頻發に鑑み群山米穀商組合員はガソリン喞筒購入費として群山消防組に對し金五千圓を寄附し直ちに內地に向け購入註文を發したる處新式ガソリン喞筒一式は四月二十日船便にて到着したるを以て翌二十一日米穀組合事務所附近空地に於て機械の運轉放水試驗の結果噴水四十間以上に及び良好の成績を得たりと（群山）

◎蝟島の繁昌
漁季に入りて

本月中旬より開始したる全南蝟島の石首魚漁業は朝鮮三大漁業の一なる丈け內鮮漁船の蝟集する者多く最近同島より歸來せる人の談によれば四月十日迄同島へ集合せる漁船は福岡長崎大分各縣よりの通漁船六百隻南西鮮近海より出動せる鮮人漁船五百餘隻にして之を相手に臨時出張せる內地人商店は雜貨店十四戸料理屋七戸理髮屋二戸飮食店二戸女郞屋一戸等なりしと

◎金融組合（群山）
群山金融組合は四月二十日午後一時より第一回定時總會を開催し大正七年度決算及び事業報告ありたり組合員數は二百八十五名にして一口五十口數八百零八口金額四千零四十圓第一回五圓拂込を了したる總口數八百零八口金額四千零四十圓なるが最に當局の認可を經て全北金融組合聯合會より資金借款の決定せる金五萬圓は組合貸附の伸展に伴なひ漸次借受くる方針にて三月二十六日既に金一萬五千圓を借入たる由にて現在預金及び貸附成績は預金定期一口金百圓貯蓄二十口金一千七百二十一圓にして貸附は保證十二口一萬零百圓不動産擔保一口金五百圓動産擔保一口金百十四等なるが貯蓄預金の獎勵の目的を以て組合理事者は組合員が貯蓄預金箱を普く家庭に配付すべく目下內地製造元に註文中なりと（群山）

◎電燈會社總會（光州）
光州電燈株式會社にては二十日午後一時より光州萬盛旅館にて定時株主總會を開き年八分の利益配當を決議せり

◎寄港減回（木浦）
朝鮮郵船會社麗水釜山線中、全南光陽郡下浦へは今後往航（釜山より麗水へ往く時）のみ寄港する事となり復航は之れを廢止すべし

◎地方はすつかり靜穩になつた
地方産業狀態

管內各郡を巡察せる太田晉州郡守は左の如く語る（晉州）

妄動を强要されし良民と七日間の限定を以て各面事務を視察すると共に面內有力者を招致し注意を與へたるが彼等は最初より妄動するの意思毫もなく不良の徒が煽動し萬歲を唱へざるに於ては放火し又韓國獨立せば國外に放逐すべし抔と途方もなきことを云ひて之を强要せし結果ツイ心にもなき萬歲を唱へたるものにて併合以來至大なる恩惠に浴し道路は改善され諸産業改良指導を受けし結果十年前に比せば倍額以上の收穫を得既に物質的幸福にも滿足の意を表し又配付の桑苗等は爭ひて面事務所より下附を受け植付に從事しつ、あり地方民心は最早何等憂慮すべき事なしと

◎店員表彰（群山）
開港記念日當日

群山商業會議所にては來る五月一日開港二十周年記念日を期し群山府內各商店に於る模範店員を表彰すべく各店主に對し店員の勤務成績申告を求めたるが四月二十日締切迄に申告ありたるは總員五十名に達したる由にて右被申告者は更に會議所詮衡委員の手に依り愼重調査を遂げ事實表彰規定に合格せる者を推薦表彰するものなり

◎金銀牌懸賞
昨年大邱に於て開催せられたる慶尚北道第二回物産共進會へ出品したる仁川吉金喜三郎氏以下三名に對し審査の結果頗る優良なるを認められ吉金喜三郎氏出品精酒は金牌を授與せられ昇氏出品醬油は金牌を授與せられ日本醬油會社出品醬油及び深草勝三郎氏出品清酒誠鶴は何れも銅牌を授與せられたり

射擊會（群山）
帝國在鄉軍人群山分會にては豫定の如く二十日群山月明山麓に於いて實彈射擊大會を催したり當日は天氣快晴無風にして眞に春の行樂に適し來會者は群山分會正會員の外名譽會員群山警察署員群山守備隊次席郡分會員等にして全州より笠谷部長裡里より吉田憲兵分隊長の來臨ありて盛況を極めたり

謠曲會見聞記（一）
仁川　小冠者投

去る十三日京日仁川支局主催の仁川謠曲聯合大會が仁川俱樂部に開かれた、初番の田村は、人も知る如く前シテは童子、田村麿の化身たる童子で後シテは田村將軍の姿で勝軍を物語るものなれば剛健雄大の位をもつて英雄の心地を現はし、謠ワキは旅僧で普通のワキ僧であるから位は重くないと云ふことである、聯合會各流各會の出しものが其の臨物とか祝物とかいふ初番物が出なかつた爲に、修羅物として初番に坐つたといふことである、喜多會が聽衆もまだ見ぬ第一の皮切りと佐治傳敬君がシテ謝越進君がワキで意氣揚々と謠はれたがシテもワキもよく其の位を持ち釣合が非常に見事であつた地は釣君、早川君、且代君、松田夫人や齋藤夫人などが見ゑ居たが地頭の位を小心とされない爲めか所々聽き苦しい點もあつたやうだが番を通じて見れば初番として見事なものであつた

◎仁川の曲馬
仁川花町

元力武精米所跡に興行を續け居る安松曲馬團は日本嬉史ファーナム武曲馬と銘打つて昨夜二回の開演に頗る大好評を博し居るが何樣可憂盛りの娘子軍が秘術を盡す妙技に心膽を寒からしむるものあると共に馬術以外に八歲の小娘が空間を横行する綱渡りや炎々燃ゆる火の輪飛び乘り等近來の觀物なるだけ常に滿員の盛況を見つ、あり同一行は愈々廿六日を以て千秋樂と打ち上げの筈なるを以て殘る一日は定めし鮓詰の盛況を見るべし

琵琶界（下）
◆仁川趣味の色々◆
…諸種の團體…

現今存在するは仁川唯一の琵琶研究會は松翠會と旭城會位のもので其他は各個人が暇に紛れて春の夜の彈奏をする位に過ぎない松翠會は中村松月君の率ゆる團體たるは前報の如しで旭城會は旭城長野君の暇に任せて敎へる會である何れも相應の會員を有つて居るが之等は即ち現代の琵琶の革命で從來動もすれば卑しめられる傾きにあつたと云ふ西絃界を藝術的に生かさうと云ふ努力を續けて居るのだから

◇頗る賴母しいこと◇

云はねばならぬ此好漢にして更に萬善の努力を惜まなかつたら近く琵琶界の復興は期して待つべしであらう目下の研究者の外に既に過去の熱心者であつたと云ふべき連中には眞田尚淸君や土木局の前田君があり、更に大商の大前君がある何れも斯界の錚々たるもの撥を持つては第一人者たるを失はぬ此の外比較的近い研究者としては一時其の

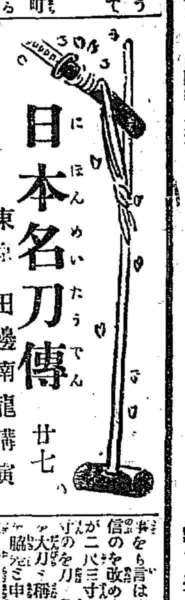
◇熱心を謠はれた◇

井上ドクトルがあり今でも五絃を彈んで居る美濃谷君がある尙進んで所聽の中村君も相應に彈くこれは京城の旭泉の門下である中村松川君の門下では小谷君がある之等は先づ仁川の彈奏者と云ふべきであるが此の以外にも漁れば數多い天狗のある事は云ふ迄もない琵琶は獨り男子の專有でなく

◇女流彈奏者も◇

決して尠くない然らば誰かと物色すると先づ髮結のお藤さんなどは女流の中でも一番に擧ぐべき人で上田夫人、中村夫人、佐藤夫人等何れも錚々たる者昔役闘に勤めてゐた美代治さんは網屋夫人の技倆けとに定評がある如く天稟の資質は彼女をして其の技能を遺憾なく發揮して居る、筑前琵琶の外に正派の薩摩琵琶は仁川では極めて少く川夫人は僅に第一人者として正派研究を怠ほらない相である

日本名刀傳（廿七）
東京　田邊南龍講演



伊勢太郎正俊（十）

武且貞宗は九郎三郎秋廣を呼んで、貞『正俊も大分修業も出來たやうだから、物は試しだ、正俊に向鎚を打たして遣つて呉れ』秋『ヘー、宜しうございます』貞『如何に鍛道に熱心でもまだ年が若いからどうかと思ふが、まア一振無駄にする積りで打たして見て呉れ』秋『へー承知しました』貞『正俊、早いもので當家に來て三年になる、少しどうかと思ふが今日は秋廣さんの向鎚を打つて見ろ』正『どう致しまして、まだ／＼私には早うございます』貞『物は試しだ、まアやつて見ろ』と言はれまして、正俊は喜び身體を清め仕事場へ參りまして秋廣の向ふ槌を執りました、九郎三郎秋廣は眼を据ゑ腹に力を入れてテーンと打ち入れますれば、正俊はカーンと打込みまする、向ふ槌はなか／＼大役なものでございます、テーン、カーン、テン、カン、テーンカンと互に烈しく打ちまする兩人共汗をびつしより搔いて傍目も觸らず鍛上げ、やがて上槌をテーンと入れて槌を置いた秋廣は汗を拭きながら見物して居つた貞宗に向ひ秋『アヽ恐れ入つたものだ、何を匿さう正俊には私は適はぬ』とイヤどうも恐れ入りましたと舌を卷きまする、自己の眼識の違はなかつたのを悦んだ貞宗はニッコと笑み、翌日は自分が鍛ちまする時に正俊を向槌に廻しましたが、是れが亦美事に打込んだ出來上つてから秋廣は此の刀を打眺め、『正俊が始めての向槌にして此の立派なものが出來た、熟心は

修業の效があつたと悦んだが、宗始め兄弟弟子は油斷ならじと互に顏を見合せた、正俊は早速伊勢多度津の母親の許へ手紙で知らせ、私もどうやらお師匠の向槌を打つやうになりましたと知らせてやつたので、母親からも喜びの返事が參りました、それより正俊は一層勵みまして二十一歲の頃には殆く許しの上達、素より名匠村正に子供の中から仕込まれました上に茲三年一心不亂の勉强に貞宗の仕込みでありますから、實に立派な腕前となりましたが、其頃貞宗の弟子の中で最も腕前の優れて居るのは綱宗、宗信、正俊の三人でございましたから、一日貞宗は此の三人を呼んで貞『さて、お前方は仕事も段々上手になつたから、湯加減、鍛加減の傳授をしてやらうと思ふ、けれども私に依估贔屓があると思はれるのは可厭だから、是れからお前方銘々一振宛の刀を鍛ねなさい、出來上つた所でそれを改めて、最も私の意に適つたものに湯加減の傳授をする、是れはお師匠正宗先生の家法に倣つたものである、少しでも我意に適はぬものには傳授しませんぞ、若し今度傳授を受けることの出來なかつたものは、今後尙一層勵んで傳授を受けるやう學びなさい』三人『有難うございます』と是れより日々三人は向ふ槌を選んで、鍛わたけ三振の刀、これを貞宗の手許へ出しましたから、貞宗は身體を清め裝束を著け威儀を正して正座し、さて綱宗の鍛わたる刀から改めましたが、暫く小首を傾けたる儘何事をも言はず其儘鞘に納め次に宗信の作を改めました、いづれも長さが二尺三寸でございます、二尺三寸以上の物を刀と稱へ、二尺三寸以下の物を脇指と申すのださうでございますが、次に太郎正俊のを改めましたが、是れも何事も言はぬ、鞘に納めて貞『さてお前方三人共仲々能く出來ました然し切れ味を試して見なさい、幸ひ庭の梅の古木、彼れを切つて見るが宜い、私が試しをしても宜いのだが、今言ふ通り依怙贔屓があると言はれるのは可厭だから銘々で試すが宜い』

◎酒井婦人病院
院長上京中の處歸城仕候に付從前の通り診療に從事致候

◎特產商の苦痛
滿鐵へ陳情（長春）

長春特產物商組合に於ては昨年來輸送停滯の爲め甚大なる損害を蒙りつ、ありしも猶復舊の望みを一縷に繫ぎ居たりしも到底現在の狀態にては堪へ得べくも非ずとて滿鐵本社へ對し數回直接電報を以て交涉せしも要領不得にて爾後の安定を得ざるものとなし先日滿鐵本社當局へ對して陳情書を差出せしが該陳情書中には現在長春特產物商苦痛せる現況及び輸送狀態を詳に說明縷述せりと

◎活きた魚が
…初めて喰べられる…
鴨綠江口の漁業

從來安東縣新義州方面に來る鮮魚は凡て釜山物が多く殊に長途の汽車に揺られて來るので新鮮の魚類を食膳に上す事は到底出來ぬ相談と斷念されて居たが追々鴨綠江口の龍岩浦邊りで漁業が始まるので潑溂たる生きたお肴が喰べらるゝ事となつた、龍岩浦方面に漁獲される魚族は鯛、カナガシラ、グチの類で餘り上等物ではないが氷に傷められた上等のものよりも活きてパタ／＼撥ね返る奴がどんなにおいしいか知れないとある肴屋は語つて居た

◎保育園
林大行師を園主とし有志後援の許に經營せる大內保育園の育兒百餘名は林園主及び保姆三名に連られ二十三日午前十時より鉢岩里に白石鐵二郎氏經營せる果樹園に遠足運動をなし午後二時大々歸路に就きたり（大田）

四月二十六日
土曜（舊三月二十六日）[illegible]

▼六白▲充分に熟考を要すべき日

▼七赤▲吉運に向ふ兆しあれど假令不正なることは好機を逸すべし

▼八白▲金錢上又は男女の間に縺れを生ずることあり

▼九紫▲餘り感服のなり難き日也心正しく吉運を迎ふべし

▼一白▲午前は吉午後は好からず

▼二黑▲愼むに越した事のなき日

▼三碧▲遣方一つでは好機を摑む日なれど條理細密の考慮を要す

▼四綠▲運が向いて來る日なれば事を正しく吉運を迎ふべく

▼五黃▲成るべく午前中に用事を片付くれば恐らく圓り易からん

商況

東京兜株中値
二十三日中値

[illegible]	七三、五〇
[illegible]	一七六、〇〇
[illegible]	一五二、五〇
[illegible]	一二九、〇〇
[illegible]	七六、五〇
[illegible]	五九、五〇
[illegible]	一一九、五〇
[illegible]	一二六、〇〇
[illegible]	一一八、五〇
[illegible]	一六五、〇〇
[illegible]	一一六、五〇
[illegible]	一三七、五〇
[illegible]	一一三、[illegible]
[illegible]	一九三、〇〇
[illegible]	二七一、〇〇
[illegible]	二三七、五〇
[illegible]	一二六、五〇
[illegible]	一五〇、〇〇
[illegible]	一〇五、〇〇

東京株式特電
二十三日後場引値

[illegible]	[illegible]

東京期米內電
二十三日

前場	[illegible]

大阪株式特電

	二十三日後場	二十三日前場
當限寄付	三〇、七一	三〇、二八
高値	三〇、七一	[illegible]
安値	三〇、四九	[illegible]
止め	三〇、七一	[illegible]

大阪三品特電
二十四日前場

綿布三品	四十七圓五錢
四月限	四三九、九〇
五月限	[illegible]
六月限	[illegible]
七月限	[illegible]
八月限	[illegible]
九月限	三五七、[illegible]

大阪期米特電

	二十三日後場	二十四日前場
限寄付	三十三圓四十九錢	三十二圓四十二錢
[illegible]	三二、一九	三二、四九
[illegible]	三二、一一	[illegible]
[illegible]	三二、三九	[illegible]

神戶期米特電

	二十三日後場	二十四日前場
寄付	三一、一九	三二、二[illegible]
高値	三一、四二	[illegible]
安値	三一、二九	[illegible]
止め	三二、三九	[illegible]

下關期米特電
二十三日

[illegible]	[illegible]

◎正米益々高し
[illegible]

◎意外に人氣高
三等合格三十四圓四十錢唱

[illegible]

手放しヤレヤレ賣
口增加

[illegible]

◎砂糖高橫へ
五十錢方引

[illegible]

早晚市價引締は免かれじ
[illegible]

◎粗布活氣附く
三百五
十八九圓

[illegible]

◎支那粟小締る
二三十錢高

[illegible]

◎白米三十錢高
大阪沖著の四十一圓迄進み來れり

三十九圓丁度

眼先四十圓見當

小賣値の引上

[illegible]

◎肥料の現況
魚肥は出廻り[illegible]

各地商況

群山米況　二十二日

[illegible]

木浦米況　二十二日

[illegible]

大邱米況　二十二日

[illegible]

◎水飴持合ひ
[illegible]

◎北海粉瀨氣丈
[illegible]

下關相場
[illegible]

南大門廻穀
[illegible]

京城正米
[illegible]

鮮內各地又呼應
市況益々活氣立
四五十錢方昂騰

[illegible]

釜山正米
▲二十四日　一齊買人氣一二十錢高

[illegible]

生魚
[illegible]

仁川期米
▲二十四日　四五十錢高

大阪沖著三十六圓四五十錢見當迄買注文輻輳

[illegible]

東京米西貢米の受渡
一等品不合格

[illegible]

北濱たより
[illegible]

內地米信
[illegible]

▲外米處分難
[illegible]

前審查を行ふ大阪取引所
付查定の格

鞘擴二十丁の

[illegible]

報豫象氣（午後六時）高氣壓 低氣壓（位置）[illegible]

光榮ある御化粧料三十六種の内
美顔白粉
桃谷研究試驗所創製
化粧料の花
春爛漫の花の色、姿やさしき胡蝶の群……美顔白粉でお化粧の婦人少女方のお美しさは、斯う申上げてよい程でございます。美顔白粉はほんとうに婦人美を發揮す白粉でございます。今一番賣れ行あり人氣ある白粉でございます。
八重櫻

第五版

京城白話
暗黑地獄（上）

露國の現在と其の將來

露西亞の現在は全然黑暗々の地獄なり。其の實際の狀態を具體的に知ること甚だ困難にして、吾人等に西比に依りて寄報碎信を得之を綜合して大抵の見當を立て得るに過ぎざるなり。或る報道に依れば、近時過激派の人氣は頗る衰へたりといふも、依然として露國を其の支配の下に置き、得意の恐怖政治を實行しつゝあるとは疑ふべきの餘地あるなし。勿論芬蘭、小露西亞、西伯利等の如き直接過激派政府の威力を受けざるの地方は、其の禍を被ること比較的に少しと雖も、ペトログラードを中心とせる大露西亞地方は、食料の缺乏甚だしく、且つ防疫設備なきがために、猖獗なる惡疫流行し、餓孚、饉死と道路に相望む狀態なりといふは恐らくは事實なるべし。曾て露都の人口が日々に減少し、平時の三分の一を殘すに過ぎずとの報に接したることありしが、其の原由の大なるものはいふまでもなく食料缺乏と惡疫流行に歸せざるべからず。而して更に氣の毒なるは舊時の貴族富豪中產階級以上の人々にして、彼等は昔日の面影だになく、其の男子は下賤の苦役に從事し、其の女子は垢を忍びて或種の事を爲し、纔に其日の露命を繫ぎ居るに反し、從來の無資產勞働者は、勝手次第に他の財產を掠奪し、他の家屋を占領し傲然として橫行濶步しつゝありといふ、貴賤地を易へ、貧富處を倒まにせる、かゝる極端なる事例は古今東西の歷史に曾て見得ざる所にして、亦一大奇蹟ならずとせず。貴賤なく富豪なく、國を擧げて一律平等の下に置き、一切の財產を國有とせる今の露西亞は、蓋し彼等が理想的極樂世界なるべきも、之がために凡ての生產機關が全く其の作用を絕ち、其極國民相食むの慘狀を呈せるは、彼等の間にも亦豫料外の感を抱くもの多かるべし。是れ固より知れ切つたることにして、將來此まゝ一兩年も繼續したらんには、全露を擧げて曠野と化するに至るや必せり。いふまでもなく露國にも過激派主義に反對するものなきにあらずと雖も、其の勢力微弱にして、今の處にては到底共に對抗するの力なく、レニン、トロツキー輩をして何憚るものなく、其の兇焰を縱まゝにせしむるは、同國のため轉た斷腸せざるを得ざるなり。

西伯利にオムスク政府なるものあり、コルチヤツク等を首領として舊露國の官吏等を集め、自ら全露政府と稱すと雖も、是れ固より虎の威を假るの狐にして、其の背後に日英佛米等の掩護なくんば、一日も存立する能はず、況んや過激派と對抗し、露國を廓清するが如きは、全然之に向つて望むべからず。彼等も亦かゝる雄大なる志を懷かず、纔に安を一隅に貪り、幸にして過激派の毒爪を免るれば足れりとするが如し。而もそれすら猶忌內爭のために、動もすれば自ら崩潰せんとするの狀なきにあらず。又南露の一地方に舊露國の軍閥より成れる一[illegible]いふまでもなく過激派を[illegible]のなるも、其の孤立無[illegible]く爲すなき、オムスク[illegible]更に甚だし。幸に[illegible]バストボールを占領し[illegible]の餘威に賴り、過激派の[illegible]る兇れつゝありと雖も、其到底モノにならざるや甚だ明かなり。此の如くにして露國は全く暗黑の裡に投ぜられ、差當つて一道の光明を求むるすら、得て望む可らざるの狀態に在るなり、其將來は果して如何。

獨領處分の經過（五）

二月十八日在巴里本社特約員　上田碩三

結局如何

◎濠洲官民のマンデトリー反對宣言とヒュース首相の猛烈なる咆哮とは或は英本國との關係を危からしめつゝありとまで噂された程、執拗であつた、而して我が代表委員初め我が國民は其の日本の領土となるべき事に就て殆ど疑念を抱かなかつた、殊に我が當局は日英間の了解に依賴して大丈夫と信じて居た、に一度ウ氏に依りて國際管理案の提出を見た時も我代表委員は尚英國を信じ自ら起つて多く爭はなかつた、寧ろ輿論の力に依るべしとでも考へたのか、我が某大使は自ら態々タイムスのスチード氏を訪問したりした、

◎けれども問題は火急であつた、所謂日英の了解の如き瞬く間に紙屑籠に投げ込まれた、我が委員は更に濠洲に依りてマンデトリーを破らんとした、否ヒュース氏の猛烈なる反對は必ずや之を破り得べしと信じた、而も形勢の推移を見て、牧野男は一篇の主張を公にした、而して此の主張の要領は牧野男の談として歐米新聞記者に發表した所に依て明白である。曰く太平洋上赤道以北に位し日本に近接するカロリン及びマーシャル群島は日本に依つて占領せられた、其の島民は殆ど全く非文明の民である、日本は之等諸島に對し平和なる建設をなすの目的の下に其の管理を主張した、素より吾人の目的は專ら島民を啓育し且つ援助するにある、吾人の此主張は同時に正當にして正義に基いて居る、之等諸島の開發は日本の利益の爲め又更に大なる島民の利益の爲め日本は最も善き管理者の地位にあるのと信ずる、更に日本の全國民は之等諸島を日本の管下に置くことを以て太平洋に於てなせる日本の功に對する一の表彰たるべきを信ずる、若之が日本以外の國の管下に置くとせば日本の國民は當然憤慨の情を禁じ得ないであらう、畢竟此國民的威信の問題は吾人の要求の重要なる要素を占めて居る、即ち吾人は飽までも吾人の主張を貫徹するに努むる『云々』と云ふ是は牧野男が會議の席上南洋諸島に關する日本の主張として述べたる要點であるが若し夫れ南洋諸島と我が國防の關係に就ては男は恐らく努めて冷淡を裝うたに相違ない、世界平和の大旆を擁せるウイルソンの面前で、國防が如何の斯うのと述べ立てては其の機嫌を損ずるの甚だしきを心配したに相違ない、

財界の新舊人（90）

不破重兼君

西海生

朝鮮銀行秘書役

官吏出身の人なるに拘らず、秘書役らしい秘書役は朝鮮銀行の不破重兼君であらう、富山縣の人、明治五年生れ、日本法律學校に學び、廿六年その二十二歲の時夙くも大藏屬に任官した、大藏省に出仕したのは前度支部長官の荒井賢太郎君より早かつたらしい、何人やらが云つてゐたが少くも略同時であつたのだらう

▲屬官としては可なり用ゐられたのである、明治三十八年には稅務監督局事務官に任ぜられてゐる、同年七月目賀田種太郎男に隨つて在官の儘韓國政府に傭聘され、韓國財政顧問部附並に度支部事務官たり、明治四十三年日韓倂合後總督府事務官として度支部に勤務し荒井長官に近邇しつゝ度支部の機務にも與つてゐたが、昨年の春朝鮮銀行の秘書役として、官服を脫ぐ事となつた、その退官の際は高等官四等まで漕ぎつけてゐる、官立大學を出て久しく判任に甘んずる者も少からざる今日、特別任用の人としては、有數の昇進と稱するも不可はない

▲目賀田男や荒井君の如きむづかしい人に多年用ゐられた所より見ると、君がいかに所謂間に合ふ人であるかと云ふ事を知り得るに十分である、いづれかと云へば才の勝つた人らしい、二十有餘年、乃ち殆んど半生を財務官吏として送つたのだが、些の官臭をも帶びてゐない、一タイが役人よりも會社とか銀行とかに向く肌合のやうである、勞を厭はず働く人である、何事も骨身を惜しまずに忠實に處理する事を怠らぬ人らしい、よく各方面に努むる人である

▲よく働き、よく努むると云ふ點に於て君の如き人は珍らしい、所謂秘書役としてはサワリもよし、殆んど非點の打所なき方であらう、糖尿病の持病はあるさうだが、居常頗る强壯で、昨秋流行性感冒で一週間も寢續けた時、十何年振りに病氣のため公務を廢したと云つて、其經歷を汚せるかのやうに話してゐた、かゝるは君の攝生に注意せる事も一因であらうけれども寧ろ人に對する耐忍力、持久力並外れて强い事も與つてゐるであらう

▲銀行家としては現役出身の方でないため、幾許の未來を有する人ぞかと云ふ事は分らぬが、行內に於ては縮まりのない、氣の措けぬ秘書役として、天降りの人に似ず、仲々受けはよいらしい、相役の飯泉君と負けず劣らずの子福者である、又圍碁や玉も少しは突くさうだが、ホンの少しでコレと云ふものはないらしい。

朝鮮教育者諸君に告ぐ（二）

關屋學務局長記

今回の事件たる多くは無智の愚民又は激し易き青年等が一部の徒輩に煽動せられて、妄動せるものなりと雖も、靜つて靜思すれば、吾人亦大いに內に省みる所なかるべからず、蓋し我大和民族は古來異民族に接觸し、又は之を包容せし歷史を有すと雖も最近三百年間德川幕府の時代に在りては、鎖國を以て其の政策とし、他藩人を視ること胡越の觀ありき、王政維新以來半世紀を經過し漸く其の氣風は自ら減卻せりと雖も、他の民族若くは階級に對する寬容融和の德に於ては、尚幾分遍狹的缺陷を有せざるにあらず、吾人內地人たるものは、須らく自ら力めて其の缺點を矯め、常に朝鮮人の境遇に身を置き、彼等に對して厚き同情の念を有するに非ずんば、到底彼等を融和し難かるべし。況んや內地人中往々にして不良なるものあり、或は徒らに朝鮮人を侮蔑し、或は彼等を苦めて其の恨を買へることは、決して絕無にあらざるに於てをや。されば內地人教育者たるものは、毫も吾人の通有的缺點を有すべからざるは勿論、其の優越せる人格と、無限の愛情とは、不良なる同胞の行爲が、不注意にも招致せる斯る缺損を償ひて、尚餘りある底の覺悟あるを要す、而して、內地人教育者の胸中に漲然たる赤誠あるは、自他共に之を許す所なるも、而も朝鮮語に精通せざる結果、充分に意を徹底せしむること能はざる恨なきか。吾人の對象たる朝鮮人の性情を知悉すること比較的少なる結果、教授訓練上吾人の親切が卻つて反對の結果を呈することなきか。要するに吾人內地人教育者は向後總ての方面に於て一層の研鑽を重ね益々教育の方法をして適切ならしめざるべからず、此の點に於て吾人當に三省の餘地あるべし。朝鮮人教育者は今次騷擾事件の突發に遭ひ、極めて困難なる立場に陷りしに拘らず、校長又は其の他教員と協力一致して奔走盡力し能く其の去就を誤らざりしは頗る多とする所なり。尤も公立學校に於ても事件に關係せし二三不良の輩を出せしは、甚だ遺憾に堪へずと雖も、大體に於て能く教育者たる面目を保ち、適當の處斷をなすを得たるは、余の大に感謝する所とす。殊に慶尚北道某公立普通學校に在りては該事件の勃發も校長缺員の時に際せしが、同校教員が諄々として生徒を訓諭したる結果、彼等一人も之に附和せず、其の父兄たる人々が卻つて騷擾を企て、學校を破壞するの無謀を敢てするに至りたるに拘らず、教員は一人も之に雷同するものなく、毅然として其の職責を全ふせし一例の如き、實に人意を强うせしむるものにして、特に稱揚に値するものとす。其の他尙此に類するもの多かるべし。教育者として將來斷良なる帝國臣民を育成すべき任務を有するもの、須らく斯の時に於み、斷乎として其所信を遂行し、[illegible]を踏んで迷ふことなく、毅然として恐れざるの勇あるこそ眞に帝國の教育者として恥ぢざるものと云ふべきなれ。

（[illegible]）千百[illegible]萬九千四百圓の減少にて[illegible]約二割一分四厘の收縮である時局に[illegible]服である此中殊に計畫資本の巨額に上つたのは化學工業[illegible]と誠[illegible]十萬圓、機械業が八百八十萬圓と云ふ微々たる資本額であつたのに比[illegible]が五億五千二百六十三萬五千圓、海運業が四億千六百七十五萬圓、銀行業、鐵道軌道業、水產業[illegible]の如き堅實なる事業は人氣も薄く割合になかつた、然るに平和克復と共に[illegible]三百二十八萬圓、水產業が二千三百七十三萬圓と云ふ少額に過ぎ[illegible]左の如し

[illegible]本年一月以降三月末日までの前記諸業[illegible]放資額を昨年同[illegible]に對照すれば[illegible]

之れに依つて見れば電氣事業が[illegible]九割八分と云ふ大減少を來たして居る（東京）

本紙定價　一箇月金七十五錢▲[illegible]
廣告料金　五號十五字詰一行[illegible]
發行兼編輯人　奧田直[illegible]　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話[illegible]　振替[illegible]

料理の友

五月號出來

兒童と食物　高島平三郎氏
畜產と國民
問題と臺所科學　長井博士
子供を中心に端午節句の獻立
不意の客に即席料理
祝賀宴洋食の獻立
廿錢で賄ふ營養ある獻立
五錢前後で春の惣菜十二種
よい浸物
家庭への詩訓
定價一冊金廿五錢
大日本料理研究會

發明世界

攫千金　巨利を博せん

四大辭書特價提供

文學博士　芳賀矢一著　新式辭典（第二十二版）特價金一圓五十錢

文學博士　芳賀矢一著　日本人名辭典（第六版）特價金一圓五十錢

落合直文著　ことばの泉（縮刷）（縮刷十二版）特價金二圓七十錢

文學士　松平圓次郎著　音訓新聲漢和辭典（第九版）特價一圓五十錢

發行所　東京日本橋　大倉書店　振替東京二三八番　內容見本無代進呈

演藝講談界

五月號

紅皿　渡邊霞亭
高尾の死　林和
山中鹿之助
白刄の矢
婦女仇討
佐賀夜櫻
千日心中
懸賞募集
巽夜雨　西村
停電
俠客春雨傘　市川
茨木　[illegible]
修善寺物語
樂園の曲
見えぬ敵
實錄先代萩
時鳥　長谷川時雨
黑髮夜叉　前田曙山
毒藥の壺　北島春石
讀物
寫眞
定價四十錢

大利益ある好職業

募集

成功の要素は人に先んじて有利の事業を行ふにあり
新發明の事業で活動次第急速に成功する永久的有望な實業也
各地何人にも本業副業に適する
一府一郡に特約代理店を募集
日鮮人を問はず成功を欲する者は貳錢切手二枚同封此際至急申込あれ詳細內容案內書送る
京城本町三丁目廿五番地
三共興業商會

雄辯家養成　演說講習錄

誰れにも出來る三大秘術奧の手開放

即席活用　忍術氣合術秘傳
圖入新刊附　變現自在幻術の秘意

養蠶にナクテナラヌ物

昇汞と防銹劑と消毒
世界の新發明品◎專賣特許
昇汞專用　防銹劑　一名サビドメ
最新式輕便噴霧器
京城本町二丁目　代理店　釘本藤次郎商店
東京市芝區田町　內外化學株式會社

蠶種

日支一代交配種、朝歐一號、又昔、青熟等皆本社特約生產品にして保證付

蠶具

蠶箔、蠶筵、蠶網を始め養蠶、蠶種製造上に用ふる蠶具、器械豊富

桑苗

魯桑、接木、實生、砧木、接穗何れも優良品多數あり

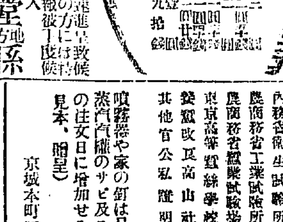
洋燈

最新發明に係る下向ランプ各地需要家より大好評を受く多數蓄荷

龍山驛前　東亞蠶絲株式會社京城支店
長電話龍山一三五　振替口座京城五二九番

英米直輸入

帶鋸金剛車附屬販賣
廉價鋸接改造スキ直
前挽橫切鑢製造元
廣山商店



美濃部降福堂

正十四金ペン付ワシントン萬年筆

ワシントン萬年筆各地時計店にて販賣仕候
ワシントン萬年筆朝鮮總代理店　宮川大學堂

◇多數決乎 全會一致採決乎 平等修正案の討議

聯盟委員會に於る人種平等案の討議に際し日本委員が多數決主義を主張したるに拘らず米國大統領ウイルソン氏が全會一致の決議を要すべく固執したるため遂に同案を葬り去られたる事實の一般に知悉せらるるや巴里の各社會は今後の成り行きに關し多大の興味を以て觀測し居れり一般に信じらる所によれば日本委員は更に各國委員全部を向ふに廻して一大奮闘をなすの覺悟を有せるものと解せらる右に關し某消息通はその推測をなして曰く聯盟委員會に於る解決の結果によりて推測すれば日本の修正案が來るべき講和總會議に於て大部分の賛同を得べきことは確實なり其の際日本委員が修正説の多數決によりて決定せんことを要求せんには總會議の局面は面白き展開を見ん從來クレマンソー氏が議長として報告をする時は議論なく全會一致にてこれを可決するを常とし總會の議事は形式的に過ぎざりしが然るに來るべき總會議に日本委員がその修正案を多數決によりて決議せんことを固執するに於ては議場は今までに例なき大論議を惹起すべければ英米兩國委員は斯る好ましからぬ局面を避けんと日本委員と秘密に會商することを求むるならん(東京特電)

◇日本不脫退決議 再び愬ふべき權利を留保

日本講和委員は聯盟委員會の判決を承認することに決定せるも講和總會議に於て再び愬ふべき權利を留保し現に牧野伸顯男は日本政府より自由裁斷を許す旨の訓令に接せり而して十四日の日本講和委員會は聯盟より脫退せざる事に決議せり(巴里電報)

◇平等案妥協如何 妥協は二個の見地より可能か

濠洲シドニーサン巴里特派員の報導に曰く又復日本の人種平等修正案に對して注意を喚起するに至れり即ち日本委員牧野男は最後の國際聯盟案が最高委員會に提出せらるゝに先だちて一種の妥協的解決を得んと企圖しつゝあり而して同問題に對する妥協は二箇の見地より可能なりと信ぜらる濠洲首相ヒューズ氏は逃べて曰く余は近日以來日本の人種平等案が討議せられたる際其の解決案を諷示したることあり即ち二個の條件を設定して第一人種平等主義を容認し第二移民歸化並に勞働に關する問題聯盟に所管範圍外なる事を明記する事之なりし然も日本委員は吾人の提議を拒絶する者なりと更に諒解せられたる處によればヒューズ氏は更に各國民の平等を承認すると同時に各國民間の互惠的待遇を要求せんとするの解決案を容認せんとする意嚮を有したり然れ共ヒューズ氏は今や如何なる妥協案なりとて濠洲政府と商議する事なくして容認する事なかるべし(シドニー電報)

◇經濟報告書完成

經濟委員會は講和豫備條約の一部たる經濟に關する報告書を完成せるが右報告は六箇條より成れり(巴里電報)

◇講和條約正文

紐育ウオールド巴里特電によれば講和條約文は十萬五千語に達し而して其中軍事に關するもの一萬二千語賠償に關するもの一萬二千語水陸に關するもの六千語戰爭責任に關するもの六千語境界に關するもの七千語等にて其の他は經濟財政及び國際聯盟に關するものなりと(紐育電報)

◇佛一年兵制採用

確かなる筋への情報に據れば佛國は再び一年兵役制を採用するに決せり其の理由は人口の増殖と戰後獨逸に對し嚴重なる警備を爲すにあり(東京特電)

◇羅馬擾亂擴大

羅馬來電によれば二十一日羅馬に於て社會主義者の示威運動中一騷動持ち上り兵士一名人民五名殺されたりローマ市は社會主義者に同情してミラン、ボロニヤ、チュリン及びゼノアにては二十四時間同盟罷業を宣言せり(ルーター電報)

◇砂糖相場暴騰 分蜜十九圓切迫

[illegible]に昂騰歩調に轉じたるが同時に今までの旅食筋が一時に旅地買進み[illegible]の氣勢を煽りたると共に五月の[illegible]て之が前進の如く十八圓八十五錢と躍進し精糖亦三十圓八十錢を呼ぶに至れり而し[illegible]つゝあるを以て尚は一段の昂騰は避け得ざるべく分蜜糖十九圓の聲[illegible]

寄付	三三、七〇	三三、一四
高値	三三、七九	三三、一四
安値	三三、六九	三三、〇五

神戸期米特電

寄付	三三、五二	三三、二七
高値	三三、〇九	三三、二六
安値	[illegible]	[illegible]

洋糖 新 二九、一〇　二九、六、一〇　八　二七四、三〇　二七、七　二七、六〇　九四、一〇　宇治川水 新 二三七、〇〇　二三五、〇〇　二三六、二〇　二三六、〇〇

◇印度暴動蔓延

印度の暴動は北後各地に蔓延し印度政府は之に對し斷乎たる態度を執るに決し機關銃、飛行機を使用しつゝあり今回の暴動は印度人大部の不平より起りたる所に瀰漫する無きを保せざるも暴徒は兵器を有せざるを以て軍隊にして之に加勢せざるか將他特別の情況發生せざる限り大事に至る事無かるべしと觀測せらる(東京特電)

◇過激主義宣傳

[illegible]過激派は北後匈牙利及獨逸に向つて運動したる結果頗る[illegible]なり既に伊國羅馬にまで及び西班牙にも運動盛んにして彼等の報告する處によれば歐洲諸國に[illegible]西班牙、葡萄牙、和蘭、希臘の各方面に亘り過激思想非常なる勢ひを以て蔓延しつゝあり彼等宣傳者は多數の資金を所持して到る處[illegible]する方針を採り居れりと(倫敦電報)

◇拓殖局調査 植民政策に關する諸項を調査

拓殖局にては今回書記官以下增員と共に常置の調査課を設置し植民政策に關する諸般の事項を調査す可く差當り左の事項を調査するに決せり(東京特電)

一、産業調査(殊に食糧問題解決は海外に俟つの要ありとし米穀食糧に關する調査)

一、關稅制度調査(殊に明年大改正行はる可き朝鮮關稅制度)

一、拓殖關係諸會計監督に關する調査

◇勅使御使差遣 竹田宮邸御弔問

竹田宮殿下薨去に就き 聖上陛下には侍從加藤泰通氏を皇后陛下には主事用掛三條公輝氏を廿四日午前十時半宮邸に差遣御弔問あらせられたり(東京特電)

◇竹田宮御葬儀日取

竹田宮恒久王殿下御葬儀は二十九日執り行はせらる可しとの趣拜承す(東京特電)

◎學校開始に就て(一)

京城專修學校長 吾孫子勝氏談

刻下吾々は、一日も早く開校の出來ることを望み、職員とも始終協議して、善後策につき種々講究して居る、吾々の考へでは、休學の原因たる騷擾が大體鎭靜するまでは、事實に於て開校は覺束ないと云ふ見込みである 然しながら騷擾が[illegible]各々部署に就いたので[illegible]であるから、今後はもう大した

▲事故の突發 することもあるまい、事實地方の騷擾も殆んど終熄した模樣である地方から舊態に復しさへすれば、京城も此の通り平時と殆ど變らなくなつたし、愈々開校の時期が近寄つたと思つて喜んでゐる次第である。内部に潛在せる不穩の思潮が全く絶ゆるまでは、それはまだ餘程時日を要するであらう。然し外部の騷擾さへ片が付けば、學校は開始しようと思つてゐる。

▲内部の思想 無論外形よりも[illegible]はあるが先づ外部[illegible]去されて開校が[illegible]題に這入りたいと[illegible]擾の激しい地方か[illegible]の者を除けば生徒は[illegible]居る、[illegible]險の地に在つて京城の狀況がさつぱり分からぬから開校する時には早速通知して呉れと云つて、學級主任や舍監に手紙を寄越すものが多數ある、丁寧に切手まで封じ込んで來るのもある、父兄の中にも脅迫の止まない中は京城に出すのは危險だから當分休ませて置きたいと云つて校長に斷つて來るものもぼつ〳〵ある

▲退學願を出 したものはまだ一人もない、要するに生徒自身に退學しようといふ意思を抱いて居るものは殆んど無いといつてよい。學生等の思想を探つて見るのに全く脅迫を恐れての休學としか考へられない。脅迫が止んでも學校には絶對に出ないと云ふ事になれば、それは又問題が自ら別になるが、吾々の觀察せる範圍では脅迫を恐る、この以外に何等休學の理由を發見し得ない。はじめは多少煽動に乘つた者もあるやうだ。又二三の者は不逞の徒の手先に使はれたらしく思はれる形跡もある其の點は誠に遺憾だが

▲彼等の大多數 は實に犧牲になつたものと見るのが至當だらう。今日となつては、まさか煽動に乘るやうな者はあるまいと思ふ彼等から寄越す手紙を見ても又直接に會つて話して見ても、學校に來たいと云ふ意志は十分に認められる。唯今日の場合、自發的に率先して、同窓間に輿論を喚起してみやうと云ふ者が現はれない迄だ目下の情勢では蓋し無理もない事だらう。今でもまだ脅迫的の怪しい刷物などが、ぼつ〳〵配付される事もあるさうだが、然しそれらの多くは最早根據のない、人騷がせをやつて見たいばかりの惡戲半分の行爲に過ぎないと思はれる。

◎上半貿易港別

四月上半の貿易港別を擧ぐれば左の如し

港名	輸移出	輸移入
仁川	[illegible]	[illegible]
釜山	[illegible]	[illegible]
元山	[illegible]	[illegible]
鎭南浦	[illegible]	[illegible]
京城	[illegible]	[illegible]
群山	[illegible]	[illegible]
木浦	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]
馬山及城津	[illegible]	[illegible]
新義州及龍巖浦	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

◎對露貿易狀況

二月中に於ける内地對露貿易は輸出五百七十一萬六千餘圓、輸入二十四萬三千餘圓合計五百九十五萬九千餘圓なるが主なる輸出品は綿織物六十一萬三千圓、小麥三萬圓、肥料三十[illegible]、更紗四十三萬[illegible]一萬[illegible]石油二十六萬圓にして主なる輸入品は汽船十萬圓獸骨四千圓豆粕及び肥料の各三千圓、木材二千三百圓等なり

◎二事業合同乎 朝鮮工業と森林鐵道

鴨綠江沿岸の森林を本とする製材の朝鮮工業會社並に其運搬をなすべき朝鮮森林鐵道會社が各一千[illegible]資本金にて内地一流實業家[illegible]に依り企劃されたる事は既報の如きが右兩社は密接離るべからざる者に付別個の會社となすより寧ろ合同して資本金を二千萬圓とする一事業となすを有利とすやとの意見[illegible]に有力方面にあり或は合同して生れ出る事となるやも圖り難しと

◎軍司令官弔詞

大勳位竹田宮恒久王殿下薨去あらせられたるに付宇都宮軍司令官は廿四日 天皇陛下に天機奉伺並に竹田宮家附宛御悔み言上方を電請す

◎分割管理と將來 鐵道院參事技師一行の西伯利派遣に就て＝川上參事談

三上鐵道院參事渡邊、野村兩技師一行九名は二十四日夜京城通過哈爾賓に向ひたるが三上氏は車中往訪の記者に語る。我々一行今回の出張は西伯利の鐵道管理問題に就て關係各國委員と打合せの爲めである。西伯利の鐵道問題は既に新聞紙上等に於て報道されし如く、目下混沌狀態に在る西伯利各政府の管理に放任し置く事は益々

▲運輸の困難 を招致する虞れあれば過般來同地に出兵して秩序維持の任に當れる日、米、支那等の各國に於て、各國で鐵道を管理し、[illegible]黑龍江の各鐵道を管理し、輸送の聯絡圓滑を計る爲め各委員を派して分割管理することになつたのである、委員會合の場所は哈爾賓であるが會合の結果如何なる協定を見るか判らないが先づ我國の鐵道が密接なる關係を有するのは東淸鐵道であることは云ふまでもない、我委員が如何なる腹案を有して居るかは今言明する事は出來ない而して該問題は勿論撤兵迄の

▲一時的管理 であつて何も各國が分領すると云ふ性質のものでないから要らざる心配は無用である、事態が圓滑であれば可いといふことになる。然し米國の如きは將來の西伯利鐵道問題に關して可成努力を拂ひつつあるやうだから我々も今後は時間の許す限り各地方を精査研究して將來の計畫に資することは勿論である。オムスク政府を中心として協議されるわけだが西伯利の秩序が恢復され愈々撤兵の時期が到來したならば、それと同時に各國管理の必要は無くなるわけである

▲滯在期間は 何箇月に亘るか一寸見當がつかない、[illegible]鐵道理事は[illegible]の爲め途中奉天で下車したが不日出發の筈である。

◎海員養成所 近く生徒募集

遞信局本年度新事業の一たる海員養成所は愈々仁川停車場の隣接地に敷地を決定せしを以て近く建物の建築に着手する事となりたり又生徒の募集は今後之を行ふ筈なるが時節柄鮮人間に於ける募集成績は或は内地人の多數を收容する事となるやも圖り難き模樣なり又授業の開始は多分九月若しくは十月となるらん尚ほ職員は當分遞信局並に同局仁川出張所員をして大部分兼任せしむるも專任者三四名を設くべしと

◎藥物種子試植

總督府衛生調査課囑託中井理學博士は瓜哇錫蘭地方へ出張中のところ本月十二日歸朝したるが[illegible]より朝鮮に適する有要藥物、植物種子の蒐集方法依頼し置きたるに對し今回試植用として藥草『アヨワン』種子を送付し來れるが該植物は十二指腸蟲驅除には卓越せる效力を有する藥草にして而も朝鮮には早春に種下せば十分生育の見込あるを以て今回中央試驗所藥草園に於て試植することとなれり

◎白國領事著任

歐洲戰亂の爲め一時閉鎖されし在京城白耳義領事館は今回再び開設の筈となりデビットン氏領事に任命され此程來任したるが氏は二十三日[illegible]に久水外事課長を訪問し就任の挨拶を爲したり

◎石塚原田兩氏

石塚東拓總裁、原田朝郵社長、兒玉少佐の三氏は二十四日午後七時五十分[illegible]同夜發の愛丸にて内地に向へり(釜山特電)

◎立神丸就船期

朝鮮郵船の[illegible]に從ひゐたる朝鮮郵船の購入船立神丸(二千五百噸)は愈々來る二十七日宇品出帆各港を經て清津に至り五月七日より清津敦賀間の航路に就く事に決定せり

人事消息

◎橘氏の招待 大阪朝日新聞京城派員橘香橘氏は來る二十七日の日曜を卜し仁川月尾島に同業者を數名招待し同氏の農園に於て一日の清遊を催すべしと

▲村井代議士 二十五日夜出發の豫定なりし旅程を變更し二十四日夜急行にて東上に向ふ

世界大戰中北歐中立國の經驗せる困難(五)

樞密顧問 内田定槌氏談

こで同内閣は僅かに數箇月の運命の下に同年の十一月に至り遂に果敢なくも

▲瓦解の憂目 を見たのであつた後繼内閣は即ち自由社會黨との聯合内閣である時恰も獨逸の殘忍なる行爲に恐れを抱き國民全般は是れと結託を嫌ふ樣になつたのである折もよし復重なる隣國は崩壊の狀態となつて恐るゝに足らぬといふ處から協商側に同情を寄せてゐた此の聯合内閣は英國に對して妥協を申込んだのである然るに是れは見事に成功して倫敦に於て戰時通商協約は締結せられ而し英國は單に内地用品の輸入を承諾したに過ぎないが其結果として四十萬噸の

▲船舶を貸與 せしめ從來獨逸に對して輸出してゐた鐵鑛一年五百萬噸を四百五十萬噸に制限せられたのである然し先づ英國側との協約は成立したが若し獨逸に對して惡感を抱かしめたならば此殘虐なる獨逸の報復も如何と更に獨逸に對して或る協約を結んだのである然し食糧の輸入を請願すべき各國も等しく缺乏の狀態にあり唯一の恃みとする米國も既に英佛に味方して參戰した折から之れを求むる事は不可能に歸したのである多大なる報酬に代ふべき物資輸入も茲に全く

▲事實的無効 となるの悲境に陷つた瑞典の國内は既に物資の缺乏も極に達して國民は窮乏不良に陷りあまつさへ是れに伴なつて惡性の病氣は流行し其光景は實に筆舌の能く盡し得べき處ではなかつた此時に當つて予は彼の國を後にして歸國の途に就いたので其後の狀況を詳かにしてゐないが兎に角其窮乏は實に慘澹たるものであつた諾威に於ては最初輸入の途があつたので物資の缺乏で苦痛を感ずる樣な事はなかつたが

▲米國の參戰 こともに輸入の途は杜絶した當初苦痛を知らなかつた諾威は俄に輸入の途を失つて瑞典の大さ周章狼狽の狀は是亦瑞典と同樣に慘澹たるものがあつた偶予が彼の國に至つた事があるそれは恰も輸入の途の絶ゆる前年であつたが其時諾威皇帝に拜謁を仰付られた爲めに參内した翠滴る築山の樹の影も床しく、青々たる泉水の中に靄立つ噴水のいを映すこそ妙なるべき苑内は何ぞ計らん

▲一面に耕作 されてゐる如何なる故で斯く麗しかるべき苑内が田畑同樣の狀となつてゐるか其不審を自ら解くに由なく皇帝に伺へば皇帝の曰くには『今日では米國ある爲に辛うじて萬民の苦痛を免れてゐるもの、一朝輸入の途が絶えたならば國民は如何許りか窮乏せん其時に際し若し從來の如き庭内であつたならば一般國民は果して如何なる感情を抱くであらうか予は是を慮るの餘り今年は耕作をなしてゐるのである』と

▲物資の缺乏 を來した結果其の翌年に至つて宮内に於ては宮城内の庭園にて耕作せられた馬鈴薯を殘りなく貧民に施與されたのであり貧民の喜びは如何許りであつたであらうか然し是は只一時的のものであつて永遠に輸入の途を絶たれては國民全般餓死するの已む無きに至るのであるそこで彼の北極探檢にて有名なるナンゼン氏を米國に派して而して國情を訴へ懇願せし結果漸く物資を制限の上僅ながらも輸入の途を開く事が出來たのであつた(終)

烏瞰錄

山梨陸軍次官は夜分は決して旅行をしない事に極めて居る、そして宿屋に着けば女中を呼で突然オイ馬鈴薯を掘つて煮て來いと命ずる▲女中君面喰つて『旦那そんなものは御座いません』と恐縮すると『嘘を云ふな今汽車の上で見て來た、此の邊は大へん馬鈴薯が好いじやないか』とやられて宿屋も恐れ入つて漸々馬鈴薯料理を進ずるさうな こんな鹽梅式で將軍は到る處の汽車の窓側の上から其土地々々の生産物の研究する▲就中食料品に就いては爛々たる眼光を輝らして正確な印象を腦裏に刻して置く▲これは一朝有事の秋日本國民の食料問題を如何に解決するかに付ての大なる軍略眼から出てる用意である▲將軍曾て歐洲各國を巡察した時、ホテルに著くや否や直ちに飛び出しては市中の安料理店に飛び込み土地の勞働者と肩を接して食事を採り大いに得る所があつたが、之れが爲め隨分失敗も演じたさうであつた▲『到處留意是學問』是れ山梨將軍の信條で、將軍は到る處意を留めて活學問をして歩けと後進を戒めて居る成る程賛成だ

入札拂下 朝鮮總督府　[illegible]
入札 京城府太平通一丁目 [illegible]五棟 大正八年四月二十五日以降 朝鮮總督府
一、白絞油外[illegible] ワイヤロープ參筋 朝鮮總督府

絞染機械 同染料 同下繪 取次販賣 京城本町四丁目 絞染研究會朝鮮支部 橋本梅子 電話一八二七番

京日案内 一回前金一圓前金(匿名無料) [illegible]

移轉 產婆 小倉松野 黄金町[illegible]電話二七二六番

ラムネ販賣人募集

金融 官吏[illegible] 京城本町三ノ四六 大和屋質店

恩給立替 京城府若草町[illegible] 西村商會

ゴム玩具大賣出 江州屋

年金恩給 太陽商會 電話二六〇六

出張中の處本日歸宅 京城日ノ出學校前 杉野一郎

店員入用 京城長谷川町 雜貨卸商 鬼頭支店

仕入用 十四五歳より十六七歳まで 京城南大門外 朝鮮土地經營株式會社

看護婦及見習募集 龍山元町二丁目 小川病院

看護婦及見習募集 京城明治町 贊化病院

レール 軌條機關車 京城永樂町 榮洋行

恩給年金 山口屋 電話一五一六番

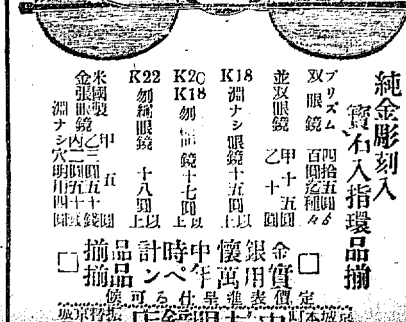
大日本優等清酒 ハクツル 品質純良 衛生無害 醸造元 嘉納合名會社 發賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番

萬年ペン修理と販賣 京城本町 ウツボヤ[illegible]

トタン平板 象印ショベル 新荷著 和洋金物商 京城本町三丁目 佐藤半次郎商店

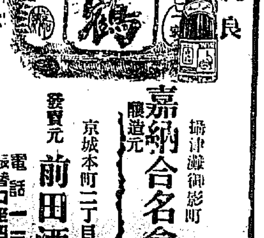
マンダヴィル東洋旅行記 廣島高師教授文學士 金子健二譯著 世界的名著の新移植成る 發兌 東京大阪 株式會社 大鐙閣

＝郵船と大新＝ 財界漸く安定し戰後相場表現の第一線に入る……郵進の歩調頗る健實にして前途活躍の氣勢澎湃たり……弊會夙に是を豫期し前數回の建株は何れも相當の利益を示し近く大配當を敢行せんとす今亦郵船、大新を目標とし第拾九回を組織す此千載の好機に乘じ致富興產を欲せば奮て參加せられん事を。
申込期間 五月五日迄 加入金一口五拾圓 日本信託證券部 十九回同 株式 大阪市北區堂島濱通一丁目 郵船大新 買同氣會 電話北長二一四番 振替大阪四〇五六九番 ▲會則説明書贈呈▲



純金彫刻入寶石入指環品揃 プリズム双眼鏡 四拾五圓迄百圓迄種々 並双眼鏡 甲十五圓 乙十圓 K18 縁ナシ眼鏡十五圓以上 K20 K18 側眼鏡十七圓以上 K22 側縁眼鏡十八圓以上 米國製金張眼鏡 甲五圓五十錢 乙[illegible] 縁ナシ [illegible]
金銀懷中時計 實用萬年ペン 品揃 定價表進呈仕る可候 京城本町一丁目 中村眼鏡店

當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
支店 東京、大阪、神戶、下關、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、會寧、安東縣、奉天、濟南、滿洲里、長春、[illegible]
出張所 大連、青島、長春、傳家甸、龍井村、四平街、旅順、鄭家屯、上海、遼陽、天津、吉林、[illegible]
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候



偲び奉る御面影
竹田宮殿下の御事
いと平民的に亘らせ給ふ
騎兵第廿七聯隊附　中村大尉謹話

竹田宮殿下の薨去について騎兵第二十七聯隊の中村大尉は哀涙を濺ぎながら語る

私は殿下とは士官學校時代同窓たるの光榮を荷ひ、明治三十五年十二月から翌三十六年十一月まで近衛騎兵聯隊に於て御同僚の

◇教練を受た當時殿下は非常な御元氣で總ての學術に秀で、居給ふたが一方馬術の御巧妙な事は驚くばかりで少壯士官中殿下の右に出づる者はないと云ふ位であつた。殿下の御嚴格に亘らせられたことは非常なものでい何時も眞先に立つて軍務に勵しみ給ふので他の將校連は

◇大に恐縮して居た。然し殿下は決して御嚴格一方の御方ではなかつた、竹の園生の貴い御身分でありながら頗る平民的に亘らせられ、常に打解けた態度で將校連に親しまれ常に温い御心で部下を愛させられた。吾々に對しても『何うだ耶に遊びに來ないか』等と仰られるので、好く御伺候申上たが

◇其の都度殿下には非常に御喜びになり、何彼と有難い御言葉を賜るのが例であつた。殿下には少尉に御任官後間もなく日露の役に御出征遊ばされ各地に轉戰して偉勳を樹てさせられ、凱旋後陸軍大學に御入學あり、御卒業後近衛騎兵聯隊の中隊長を經て騎兵學校教官を御勤めになつた。其際即ち

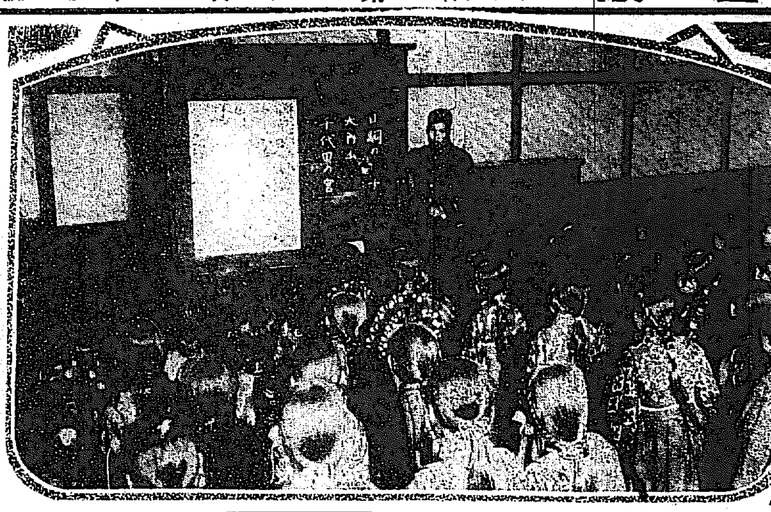
◇大正二年秋の事であるが、私は戰術學生として同校に入學すると殿下には『中村久し振りであつた』と仰せられた私は此時感極まつて熱い〲涙の込上げて來た事を今でも憶ねて居る。

私は其翌年十月首尾好く業を卒へて原隊へ復歸する事になつたが其際にも亦種々有難い御諚を賜つた私が殿下の御目に懸つたのは

◇是が最後であるが今度既再び殿下の御英姿を拝する事が出來ぬかと思ふと哀痛の情は一しほ深い、吁殿下は何故斯くも早く人の世の春を見捨て給ふたのであらう。

兒童の頭に好く入る
御成年式の奉祝歌

二十九日の皇太子殿下御成年式には全國各學校で奉祝唱歌を唱ふ事になつて居るので市内各小學校に於ても目下奉祝唱歌の練習に餘念がない其れに就いて南大門小學唱歌擔當の藤井訓導は語る『御成年式奉祝唱歌は各學年共毎週二時間宛練習をやつて居ますので、もう餘程上達して來ました此處で當日までには一度一同を集めて練習をする心算ですが奉祝歌は立太子式の唱歌とよく似て始めは溫順しく中途から威嚴が出て終りに步出度く結んで有るので生徒の頭にも容易に入ると共に自ら皇室尊嚴と云ふ事も判ると思ひます』（寫眞は練習して居る所）



梨本宮
大連御上陸
盛なる歡迎

滿洲守備第十六師團の精鋭を率ゐて御渡滿の梨本宮守正王殿下には豫定の如く二十三日午後五時大連御入港同夜は海上に御假泊の上愈々二十四日午前九時を以て大連埠頭に御上陸相成たが此日天氣晴朗にして空に一片の雲もなく

◆風暖かに絶好の日和なり殿下御上陸前より奉迎の官民諸員は何れも禮裝して御乘船前に整列し猶ほ各學校生徒及び第三大隊は御道筋に整列して御迎ひ申上ぐる程に軈て定刻となれば殿下には胸間に大勳位菊花章を佩ばせられたる陸軍中將の御正裝にて上甲板中央より架せられたる船橋より北條御附武官を隨へて御退艇諸員の最敬禮に對し一々擧手の御會釋を賜ひつゝ滿鐵より差廻しの

◆御馬車に召され獻じ騎兵七騎の前驅後衛にて御宿泊の御旅館なる滿鐵社宅迎賓館に入らせられたるが御通過の御道筋には日支民庶を堵して整列奉迎したり殿下の滿洲館に入らせらるゝや川上榊山の兩理事は上田秘書役を隨へて大連に御出迎ひ申上たるが此處にては埠頭より御供申上たる官民十數名に

◆謁を賜り暫く御休息の上川上榊山兩理事の御案内にて日清製油會社に御成あり滿洲の特產物を原料とする油房工業を御覽相成たるが殿下には廿四、五の兩夜滿洲館に御宿泊廿六日午後八時半大連發の特別列車にて任地遼陽に御赴任相成べしと承はる（大連特電）

靖國記念祭
參拜遺族の心得

來る五月一日二日の兩日に亘り靖國神社鎭座五十年記念祭執行に付靖國神社へ合祀されたる者の遺族參拜心得に關し記念祭委員長山梨中將より左記注意ありたり

遺族とは合祀者と同一戸籍内に在るものとす▲參拜の遺族は現住地市區町村長の靖國神社合祀者遺族たるの證明書を携帶するを要す▲前項證明書を持參したる遺族には神杯、神饌等を交付す▲參拜の遺族は四月三十日五月一日二日午前八時より午後三時迄は靖國神社境内遺族接待係受付に申出で其指示を受くると▲參拜の遺族には委員より遺族徽章を交付す▲參拜者の遺族には各所參觀其他に付委員は便宜を與ふ

天滿宮大祭
餘興は御遠慮
本廿五日午前十時より

京城神社攝社南山天滿宮にては既報の如く今二十五日午前十時より大祭を執行し當日は特に開扉のまゝ一般の參拜を許す由なるが竹田宮殿下薨去あらせられたるにつき弔意を表し祭典後催すべき餘興は一切遠慮申上ぐべしと

迫害に恐れず道普請
感ずべき郡參事

京畿道始興郡内に於ては今回の騷擾に際し負傷者は勿論一名の犠牲者をも出さざりしが殊に郡參事趙重完氏は李主應南面々長其他の面長と協力して面民をして輕擧妄動等の所爲なきやう懇々說諭し彼より迫害を受くるも敢然として毎日約五百名の人夫を使役して同地方面道路工事を竣工したるより郡民は何れも深く感謝し居れりと

◎記者團三度
會見を求む
米國宣教師へ書面を以て

二十二日の刊掲載のマクヘットの聲明文に對し[illegible]

◇不祥事たるのみならず [illegible]

◇策源地の如く相傳へ居り [illegible]

◇反響を與へ[illegible]

◇虚僞の [illegible]

◎醫專生徒
始んど登校
二十五日から改めて試驗を施行

京城醫學專門學校生徒中鮮人側は今回の騷擾事件に關聯して全部休校中の處學校當局は去る二十一日を期して登校する樣夫々命令する所あり其結果大部分は登校するに至り同校長芳賀博士は彼等に對し懇なる訓戒を試みたるに彼等も充分其

◆非を悟り改悛の狀を表したるにより學校當局は廿五日より之等鮮人學生に對し夫々學年試驗を執行することゝなれり芳賀校長は語る『實際つまらぬ事をやつたものだ今明の學年試驗を濟ませば立派な醫者として世に立つことが出來るのに些々たる事件に關聯して大切な學業を拋棄するとは實に

◆遺憾に堪へぬ次第であつた此度學校の命令によつて登校した學生等は孰れも悔悟したることを認めたから其登校を許容すると同時に直に其學年試驗を執行することにした相當の成績あるものは卒業させてやりたい考へである』

◎朝鮮婦人を書記に採用
長谷川金融組合の新らしい試み

古來朝鮮の婦人には種々の弊風があつて[illegible]中に埋沒して[illegible]であるが今日のやうに經濟上[illegible]遺憾なりとして今回[illegible]金融組合では[illegible]婦人の書記を採用して[illegible]家庭の金錢を說いて廻る筈である（希望）

◎牡丹臺の櫻
月末が見頃

平壤牡丹臺及び大同江畔の櫻花は昨今の暖氣にて漸く咲き初めんとしつゝあれど爛漫として咲き匂ふは先づ本月末頃ならんと（平壤）

◎歐洲大戰講話

東京帝大教授フェリシアン・シャレー氏は二十五日夜東京より來著二十七日（日曜日）午後八時より長谷川町[illegible]俱樂部にて歐洲大戰に關する講演を試むべくシャレー氏は大戰に參加し殊勳を樹て、特別章を與せられたる名士にして先般來東京にて數回の講演を試み聽衆に多大の感動を與へたる人なれば京城にての講演は多大なる聽衆あるべしと云ふ聽講隨意

◎淨土宗婦人會　廿五日午後一時より本町三丁目淨土宗教會にて開催[illegible]小法話あり

梅蘭芳を中心に（上）
見たこと聞いたこと
觀せに行くのでなく觀に行く主義　報酬は一文も受けぬ

支那の名優梅蘭芳渡日の報が傳へられたのは三月の下旬であつた。それ以來彼の名は闇に散る火花のやうな華かさを以て我劇壇の上に遠く光りを投げて居た。そして熱狂は彼の端麗な容貌と甘美の聲と自在な藝術に寄すべく

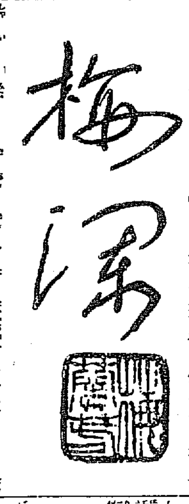
△彼の渡日を待ち焦れて居た、斯うした熱狂と渇望との裡に迎へられて、彼は二十三日の夜京城を通過した車中彼の一行と記者との間に、種々な雜談が交へられた。梅は日本語が話せない。然し一行には慶大出身で日本語の巧な恒氏が居る。又支那語の巧な村田孜郎氏が居るので此の二人を通じて話頭はそれからそれへと轉じ行つた。話は先づ

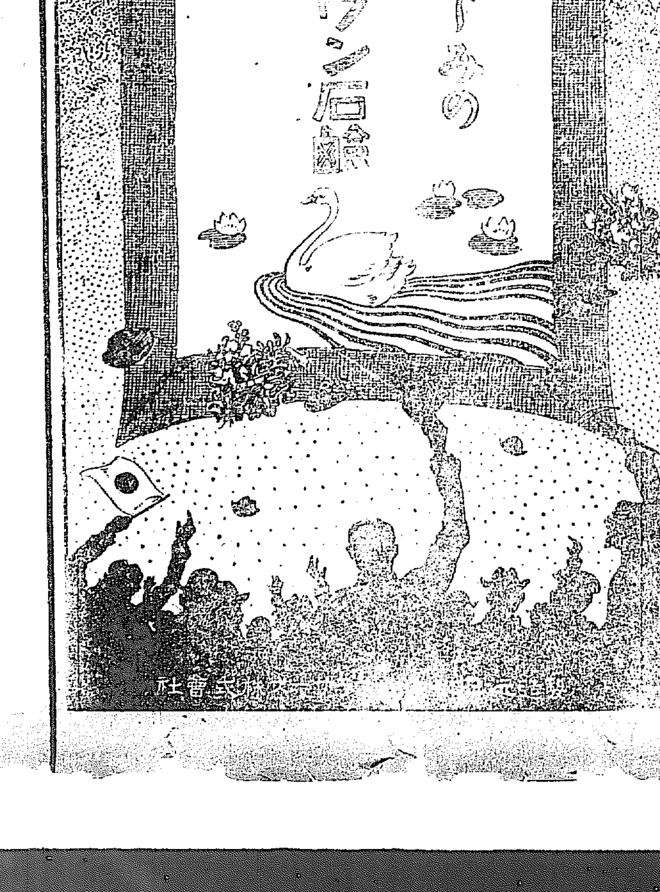
△梅を中心として交換された『大變な人氣ですよ』と記者が云ふ『皆さんの御厚意に對し私達は心から感謝して居ります。それに就ても帝劇で十日間の出演が皆さんの失望を招きはしまいかと心配でたまりません』と梅が答へる『そこで私達の渡日の意味を明かにして置く必要があるのです。觀せに行くのではなく、觀に行くと云ふことを……』作家齊如山氏が口を容れる『全くさうですよ、梅君は今度の出演で、自分としては一文も

△報酬を受けない心算で居るんです。それと云ふのも決して興行を目的とするものでないと云ふ事を證明したいからです。全くですよ梅君は日本の藝術と風景に憧れて行くんですからね。尤も他の俳優連の報酬問題などは別ですが……』と村田氏が註を入れる。『お隣同志で居て、今迄日支兩國の演劇が不關焉とした態度を取つて居たのは隨分變ぢやありませんか』と云ふ、記者の問ひを受けて『全く

△二千年トントン拍子した覺えがないやうですね。尤も近來は所謂新派劇なるものがあつて、一種の國民劇となつて居ますが國劇所謂舊劇の紹介も亦傳統藝術としての相互研究として今日の意味からして今は舊劇の脚本十種を選擇して上演することにしました』と齊が答へる。今度は腰掛け、寢臺車に一緒に寢そべつて居る梅夫人の上に話が移る『何しろ梅夫婦は途中旅行は

△今度が始めてですから疲れ切つて居る所です』と村田氏が云ふ。『梅さんは幾つで結婚しましたか』と餘計な質問を試みる『十六の時です。妻は十七でした恰度十年前ですね。其間に二人の兒を擧げましたが二人共亡くなりました』と。梅は美しい顏に寂しい微笑を浮かべる。造化の技工が過らなかつたら二人の仲の子供は嘸美しかつたらうと思はれる。





◎五月幟
期切迫 至急御申込
附屬品付
諸染物類 京染悉皆 洗張湯のし
京城岡崎町七十番地 清水堂染工場 電話五百十番

知味停車 聞香下馬

男の血汐
朝顏日記
薔薇
新派大悲劇
愛の光り
廿五日初日
黄金館

大阪屋號

最新刊
朝鮮教育論 定價一、五〇
アルセンルパン 一、二〇
海商法通義
咏木全集 第一卷
蘇生 定價一圓五十錢
職員錄 定價九十三錢

破天荒の提供 NKK 自動車の月賦販賣
僅か二千円で自動車が買へる
○今般米國に於て年來實行成功を見たるインストールメント（月賦）販賣法に倣ひ自動車直輸入業者の權威たる我が社はハイヤ業の進歩を指導すべき責任を感じ
○二年間運轉手たりし諸君の奮起二年間ハイヤ業たりし諸君の經驗を尊重し此の大膽なる月賦販賣法を斷行す
パカード
シボレー
コロムビア
ビム
ページ
リバチー
自動車
以上各車共最初半額を一時に拂込まる、事により完全に諸君の所有に歸し殘金は無擔保の十二箇月月賦にて足れり
○此の最初の試みに幸運を攫み得る機會は各支社を通じて僅に百臺に過ぎず遲疑者は落伍者なり
○申込は大正八年四月卅日限り三錢切手封入あれば規則書送呈す
資本金四百萬圓
東京市麴町區有樂町一丁目五番地
內外興業株式會社自動車部
本日で流行の月賦法の新案
支店出張所 [illegible]

みだれ咲き

第九回　島山碧波作　森田久畫

操子と龍雄の二人が何か首肯き合つて自分達の部屋へ入つて行かうと、其の後姿を見送つた執事の松川は、傍に佇立んで居る小間使のお吉に不意の命を下した、口ではなく顎を以て何か命令を傳へたのであつた。

『何んでございます』

年の若い小間使には、松川の命令が了解することが出來無かつた。

『判らんのか』

忌ま／＼しさうに舌打ちをした松川は、お吉の前へ寄り添つて何か耳打ちをすると。

『承知しました』

流石は艶子夫人が氣に入りの小間使である、彼れは直ちに此處を去つて操子の部屋の次の間へ忍んで行つた。

斯る奴が居ようとは夢にも知らぬ操子は、龍雄を連れて自分の部屋へ入るさ。

『龍雄さん、あんな事を松川の居る前で云ふのではありませんよ、[illegible]口にて居ても人の心は表面から判りませんわ』

龍雄も自動車の中で自分の口外したことが、萬一松川の爲めに義母へ報告された時は、自分等二人の爲めには大なる不利益であるのを悟つた。

『姉さん、心にも無いことを申して御心配を掛けました、此の後は氣を付けますから今度だけ許して下さい』

素直な彼れは姉の前へ兩手を突いて謝罪するのであつた。

『許すも許さぬも在りませんが、口と財布は閉づるに利ありと云ふ諺がありますわ』

『熟く判りました、以來は必ず氣を付けます』と答へた龍雄は姉の顔色を窺ひ乍ら。

『姉さん、僕一寸外出がしたいのですが不可んでせうか』

『外出？……今からですか』

操子は殊更に顛狂の聲を出して驚愕の風を装つた。

『ねえ左樣なんです、但し長くて一時間、早ければ精々十分位で戻つて來ます』

操子には弟が急に外出したいと云ふ理由は熟くわかつて居る、弟ばかりかは自分でも執事の眼が曇りを帶び、小間使お春が義母の間者のやうな婦人で無ければ龍雄と共に外出がしたいのだ。

『何んで此の夜更けに外出をなさるの？』

操子は何氣無く訊して居るが、其の兩眼は露の玉が光つて居た。

『姉さん、今玄關で小間使のお春が松川に話して居たことをお聽きになりませんでしたか』

『さう／＼庭番がごうとか斯うとか云うて居ましたね』

何故か操子は冷やかに答へた。

『お母さんが邸の周圍に來て居たと云ふではありませんか、ですから僕は一寸外出しようと云ふのです』

流石に龍雄も實母に逢ひに行くと赤裸々に告白はしなかつた。

『龍雄さん……』

屹つと坐り直し、操子は、聲を勵まして弟を呼んだ。

『はい……』

鯨の料理法

甘味く食べる法

鯨が又魚屋の店に出るやうになりました、鯨の肉は同じ獸類ではありますが何うしても魚の臭みが取れません、殊に赤い處は血身のやうで何となく臭いのが遺憾であります、此臭味を取るには糠で能く洗つて、それから細かく切つてから幾度でも煮沸たつた湯でゆがくと取れます

△ビフテキ　鯨のビフテキは其儘にビフテキにするよりも、細く切つて俗に云ふハンバルグのやうに挽肉にして、それからビフテキに致します、それで少し臭いのが嫌ならば玉葱を刻んで入れると結構です

△鯨肉佃煮　佃煮は前に述べたやうに肉を細く切り[illegible]湯がきます、而して黒い赤い湯が出ると之を捨てゝ又さらに砂糖、醤油、佃煮を作るやうに煮ます、此佃煮へは生姜を刻んで入れると結構であります

△鯨の味噌漬　味噌は成る可く辛いのを用ゐます、之に酒と醤油とを加へてドロ／＼にして此の中に牛肉か一夜漬けにします、之にも生姜を摺り込むと宜しい又其肉の切り方は牛肉のやうに庖丁を入れることを忘れてはなりません

牛乳　新鮮ホテル病院御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一六〇九番

日報柳壇

ぬすこ猫　剣花坊選

佳句

あんなのが昔は化た猫の猫　鳥石
妾宅の開かない日からぬすこ猫　同
ぬすこ猫にも懲りて捕へられ　鮪左エ門
ぬす猫に惚れて飼猫をふり　萍堂
ぬすこ猫同じく顔に嘩をぬり　高峰

秀逸

師直をかくまつてやるぬすこ猫　十の字
ぬすこ猫故主の家へ忍び込み　鮪左エ門
小便を位牌に殘すぬすこ猫　鳥石

日報俳壇

國本溪湖吟社詠草（高洲）

雪舟の下り來る背に身すり龍哉　しづ女
扉根に落ちて樹の影や寒の入り　同
歩み居る仰ぐ白樺の芽を吹きし　同
葱洗ふ女に朝の粉雪かな　同
麥蒔や河原續きの風寒き　同
極月の風邪もなき曠野かな　同
春雪の少し積れるポスト哉　含木
葉嶽に飛々交る小松かな　同
手術室の窓に影打つ冬木哉　同
酒米を浸せる桶や冬の月　同
銃を擔いで雪の大樹を仰ぎ居り　同
慾切るや俎上に匂ふ鱈の腥　把翠
瓢葱に雪吹きつくる井桁哉　同
梲立てかく下晩に芽吹雪哉　同
砕に日影落ちきぬ木の芽中　七夕

京城の名物（京城南大門通三）カフエータイガーの洋食　こすき　鶴

旅中吟

山焼も見す宵の奈良過ぎけり　同
草に蝶の死に就く廬や冬溜日　同
柳くゝりて野風呂に水を汲にけり　むめ女
暖や荷馬車の上の小風呂敷　同
シャボン玉障子に觸て消にけり　同
泉水に捲れて蚊蝿戻りけり　天南
雨上らんとする空の明りや木爪の花　木三
水仙や肥壺に寄る山鶏　紅橋樓

新刊紹介

▼日本少年（五月號）　死地に乗り出す捕鯨船　捕鯨十五年等の勇壯な記事外始め維納帝國瓜哇旅行、山中鹿之助等がある（定價二十錢發行所東京京橋實業之日本社）

▼少女の友（五月號）　相變らず綺麗な繪と有益な記事を以て充されて居る蜂の友情、九官鳥、海底の寶、犬の探偵、スワザの娘等何れも面白い（定價二十錢發行所東京京橋實業之日本社）

▼幼年の友（五月號）　美しい繪、氣の利いた意匠、面白いお伽噺等何れも小讀者に相應しく附録『鬼が島征伐』は子供には誂向きの遊戯である（定價十五錢發行所東京京橋實業之日本社）

讀者の領分

▲近來債券月賦を取る所ありて、此の會中には拾圓券一つ當つて五圓に對して一割五十錢を徴收すると聞ふ彼等の手數料なりとて又五十錢徴收する命令あり其の當貰に一圓なり勝ても悪けれは之れを損して契約を要す（諒められ生）▲本年は早や花も咲き始めたる[illegible]らしい氣分の味、道ばたや[illegible]居も今少し發展して一層に[illegible]御ひ度（高好生）▲京城[illegible]るものと認めて役[illegible]申一げる[illegible]いやと思つても[illegible]ねとになるのです（係）▲總督府[illegible]根の看護婦さんもう少し親切に電話取りついで下さいませ、あんまり乱暴です（無名草）▲[illegible]に所屬[illegible]き一電車に一度部、四週差二三兵あり[illegible]衛にしてはちと不遜さはせぬか（立ちん坊）▲近來貴重なる不相な妄用して馬鹿[illegible]記事を到底する人があるが讀者を侮辱するものである無益な記事なぞ讀まなくてもいゝ）▲郵便切手及び收入印紙は[illegible]存じます[illegible]あれは[illegible]一同が一切[illegible]せわ之れを犯したるものは告發する[illegible]の規約を設けては如何[illegible]せしむるには京城郵便局の御援助を求む（一實攝人）

人參王　京城本町壹丁目　電話一四八〇番・一八七〇番　ツ　津村兄弟商會

鶏（カツラ）　食用　種卵　雛　分讓　三割引　京城府黄金町三ノ二一九　高麗鶏園

最近放資趨勢

財界風潮一變

農商務省の調査に據ると工業事業[illegible]百六十九萬五千圓でこれを前年同期に比較すると一中（月に千七百八萬千三百圓（二月中に八千三百二年）までの三箇年間に於てこれに[illegible]七千[illegible]中最も事業の新設擴張の旺盛である即ち右三箇年に於ける化學工業で五年度以降七學工業計畫資本高は三億九千百十一萬四千圓で機械業の計畫高[illegible]九百九十九萬五[illegible]較すると化學工業が約二十七倍、機械業が約三十倍の膨脹を僅々三箇年間に仕遂げた事になるのであ[illegible]る時局中發展の目覺しかつたのは運輸業が六億千九百六十七萬五千圓に膨脹して居る是れ時局中の金儲けの目標が海と山とになつた丈け、その方面の事業に對する人氣[illegible]不振であつた、過去三箇年間に於てこれに對する計畫資本額は、電氣瓦斯業が三億二千三百七十四萬千圓、銀行業が四億六千八百二十[illegible]財界の風潮は一變し、鐵道、軌道、電氣、瓦斯、其の如き比較的堅實なる事業に對する放資は増加し銀行等に對しての放資も亦同樣[illegible]

	本年度	昨年度	増加
製造工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
治運業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
銀行業	[illegible]	[illegible]	[illegible]

[illegible]六千五百餘萬圓を主とし鐵道、軌道、水産、銀行各事業は孰れも六百萬圓乃至三百萬圓の放資増加を見なれるに反し[illegible]

ぢの薬　登録商標　内用　外用　清痔丸　清痔劑

痔を焼かず切らずに治さんと思はゞ此兩劑を併用せよ面白い程効あり　◎數年惱める固疾難症の人と雖も試よ誠に妙

◎藥價　内用卅錢、五十錢、一圓、二圓　◎外用も同價

本舗　名古屋京町　藥種問屋　荒川長太郎　商店

◎全國いづれの藥店にもあり◇無くば直送す

外科　内科　皮膚科　京城旭町一丁目　電話二七三六番　島崎病院　[illegible]島崎龍一

優等清酒　鶴　京城永樂町一丁目　本店　[illegible]　仁川　本店　支店　安東縣大和通　本店　支店

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　酒井婦人病院　入院隨意　電話一八番・一六〇〇番　酒井一郎

腦に故障ある人は出世の妨　期し國家人道の爲め盡されん事を　本舗　東京市神田區花房町　大阪市西區[illegible]支店　山崎帝國堂

腦病と神經衰弱奇藥　胃腸病院長處方にて一切の腦病頭重く時々痛み眩暈し嘔吐あり逆上、通じなく事務に倦怠、疲勞過度、統一せず、安眠出來ず、惡夢に襲はれ顔色青く物に驚き易き記憶力缺乏の元氣衰へ病勢進みて中風となるとあり本劑は右の如き諸症に最も適當して腦、神經を強健ならしむる唯一の良劑なり　正價二十五錢、五十錢、一圓　送料八錢

可驚新發見　腎臓病及膀胱加答兒　實驗必治の確證ある最新藥トリビンは尤も難治とせられたる病患者の福音にして全快者の證狀申の如し同病に悩む方は一服直ちに用ひて病根を去らしむ如何なる重症にても二週間服用せば奏効確實なり　◎一週間分金參圓五拾錢　東京市神田區三崎町二丁目十一番地　振替口座東京五五九四番　一心堂石井直　石井式養生法詳細可致候

胃病良藥　ホシ胃腸藥

効能實驗談書例募集

應募下されし方へは失禮乍ら粗謝を贈呈す

醫藥學の泰斗が學理と實驗とを應用して作つた處方によりて高級の技術者が優良なる原料を精撰し親しく配合して發賣せる、ホシ胃腸藥が如何に確實なる効果を有するかは一般に認められて居りますが、更に本社は本品を御實驗下さつた方々に就て其奏効の状況を親しくお伺ひ致し世の御同病各位の治療の參考資料に供したいと思ひ茲に本問題を社會に提供してホシ胃腸藥の服用により胃腸疾患の快癒せし御實驗談を廣く募集致します、ドウゾ皆さん社會衞生の爲めドシ／＼御申越し下さい

主催　東京京橋南傳馬町三丁目　星製藥株式會社

應募心得
一　文体及文章の長短は御隨意
二　本人又は他人の御實驗にても精確の物ならば差支へなし
三　實驗者の住所氏名及職業、年齢は必ず御明記ありたし
四　募集の趣意に適合せる御投稿には全部粗謝を呈す
五　宛名は本社「實驗談募集係」宛となす事
六　投稿者の住所氏名御明記の事

實驗談の一例（見本）

（例其一）私は數年以前より胃腸の工合頗る惡しく食事の後には必ず胸やけがして堪へず背痛を感じ、時々非常に身体倦怠を覺え遂に仕事を休む場合も多いので種々の療法や服藥を致しますと一時は快方に向ふも忽ち元の如くになりますので、今度は持久療法に依るより外なしと考へホシ胃腸藥を選定して約一ヶ月半程服用を持續しましたら段々工合が良くなりましたから試に服用を中止して見ました、然し今度は前の樣に惡に戻る樣な事なく爾來一ケ年有餘を經過しましたが今は根本から全快したものと信じ非常に喜んで感謝して居ります

（例其二）拜啓陳者私儀久しく胃腸病にて色々藥と云ふ藥を買ひ試み候ひしが其効なく唯々心配にのみ日を送り居り候處或る日大阪朝日新聞にて御社の胃腸藥の廣告を拜見仕り早速廿錢一箱買ひ求め試用致し候處るに四五日にて輕快を覺え候故更に前記二十錢の箱一個買ひ試み候處一週間位にて全く快癒致し候之れ全く御社胃腸藥の著しき効験の致す處にて餘りの嬉しさに拙筆を顧みず御禮申述べ候敬具

胃病良藥　ホシ胃腸藥